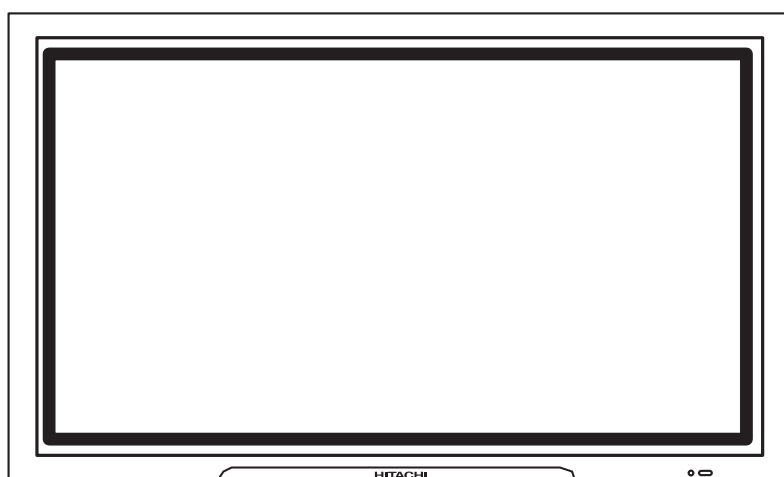
HITACHI

日立プラズマAVモニター

形名

42PD7000MA-J1　取扱説明書

このたびは日立プラズマAVモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

はじめに

この「取扱説明書」を通してお読みください。特に「使用上のご注意」（ 4 ～ 11 ページ）はよくお読みください。誤ったご使用方法は本機に悪い影響を与え、早く故障に至ったり、あなたや他の人々へ危害が加わったりする恐れがあります。本機の設置時やご使用時に何かの不具合を生じた場合には、まず最初にこの取扱説明書の「故障かな‥と思ったら」のページをご覧ください。（ 28 ～ 30 ）
万が一、本機に重大な問題が生じた場合には、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、すぐ販売店にご連絡ください。

ソフトウェアについて

本機に内蔵されているソフトウェアを解読したり逆利用したりすることは禁じられています。

特　　長

大画面・高精細プラズマディスプレイパネル採用

表示画素1024×1024の42型、プラズマディスプレイパネルを採用し、高精細かつ大画面で薄型のフラット・ディスプレイを実現しています。
地磁気や周囲の電源ラインなどによる磁気の影響がないため、色ずれ・画面歪みのない高品質な表示をします。

高機能デジタルプロセッサー採用

コンポジット、コンポーネント及び、HDMI信号の入力に対応しています。高画質デジタルプロセッサーを搭載し、きめ細かく、ダイナミックなコントラストで映像を表現します。
また、640×400、640×480のVGAから1600×1200のUXGAまで、幅広いPC信号入力にも対応しています。(アナログ入力)

オンスクリーン・ディスプレイ・システム

付属のリモコンにより簡単に画面調節ができます。さらに、オンスクリーン・ディスプレイ・システムが信号の受信状態や調節内容をわかりやすく画面表示します。

映像機器との接続

●コンポジット/S端子2系統*1、コンポジット端子3系統*2、コンポーネント端子2系統*2、HDMI端子1系統があります。また、モニタリング機能としてコンポジットビデオ出力端子を用意しました。

*1　1系統はサイドインプット

*2　AV1、AV2入力のコンポジットとコンポーネント2系統併用時は、コンポーネント優先

●パソコン以外にも多くのAV機器との接続が可能となります。
●メニュー画面により、RGB端子をコンポーネント入力に切換え可能です。

JIS C61000-3-2 適合品

この製品は日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造しています。

オプション（別売）

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1. デスクトップスタンド
   ・CMPAD25（手動スイーベルタイプ）
2. プラズマモニター専用スピーカー
   ・CMPAS14W
   2.5cmドーム型円形ツィーターと8cm円形ウーハー2個を配置した2ウェイスピーカーです。
3. 壁かけユニット
   ・CMPAK05
4. 天つりユニット
   ・CMPAT05

もくじ

標準付属品

付属品をご確認ください。
万一、欠品がございましたらお買い上げの販売店へご連絡ください。

取扱説明書（本書）……………………………1冊
保証書……………………………………………1部
リモコン送信機…………………………………1個
単3乾電池 ………………………………………2本
電源コード………………………………………1本
穴カバー* ………………………………………2個

＊穴カバーは壁掛設置等で本体スタンド用穴が目立つ場合にご使用ください。（取付方法は14ページを参照ください。）

お守りください
●電源コードは、必ず付属品をお使いください。
●付属の電源コードは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

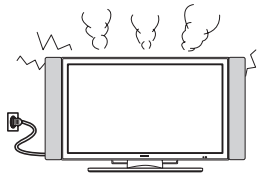
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を受ける可能性があります。

絵表示の意味

- 気をつけなければならない。「警告」「注意」を示します。
- 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- してはいけない。「禁止」を示します。
- 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

⚠警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

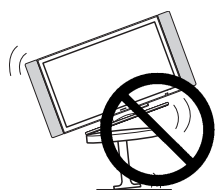
異常、故障状態とは
●煙が出ている、へんな臭いや音がする
●画が乱れる、映らない、音がでない
●本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど
異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意（つづき）

設置をするとき

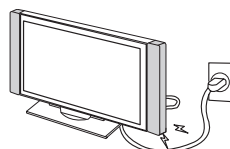
⚠警告

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

●プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど。

■ キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

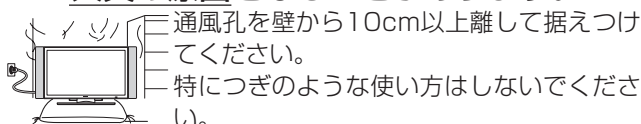
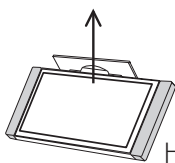
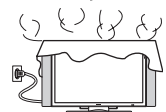
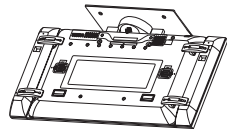
■ 電源プラグなどの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。
本機は主電源スイッチが切りの状態でも、極微弱な電流が流れています。

安全上のご注意（つづき）

設置をするとき(つづき)

⚠注意

■ 通風孔をふさがない
火災の原因となることがあります。

通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。
特につぎのような使い方はしないでください。
●本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
●風通しの悪い狭い所に置く。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

上向き　　下向き

■ 転倒防止の処置を行う

モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■ 本機を医療機器の近く(同部屋)には設置しないでください。
医療機器の誤作動の原因になる事があります。

■ アース線を必ず接地する。
本機は安全のために必ず、アース接地してご使用ください。

アース線を必ず接続せよ

●2極コンセント（アースなし）の場合は、アース工事が必要となります。
アース工事は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
●電源プラグアダプターを使用する場合、電源プラグのアース線は、アース端子に接続してください。まちがってコンセント端子に差し込むと、感電や火災の原因となります。

アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。

使用するとき

⚠警告

■ 本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

●花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
●ペットが乗らない様、ご注意ください。

■ 異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

使用するとき(つづき)

⚠警告

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■ 風呂場やシャワー室で使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場やシャワー室での使用禁止

■ 指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら、本機には触れない

感電の原因となります。

接触禁止

■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■ 裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

●傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■ 衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

使用するとき(つづき)

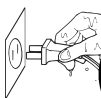
⚠注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

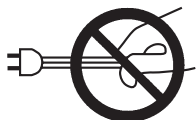
■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったり寄りかかったりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 転倒防止フックがありますが、ものを立て掛けたりすると本機が倒れてけがの原因になることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。
- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

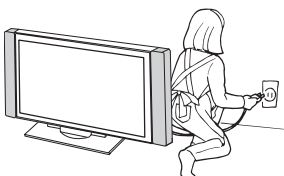
電源プラグをコンセントから抜くこと

使用上のご注意（つづき）

安全上のご注意（つづき）

お手入れするとき

⚠注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具(ストーブやエアコンの吹き出し口等)の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

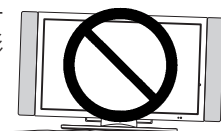
■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ 搬送についてのご注意

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

■ プラズマモニターの設置について

傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。

お守りください（つづき）

■ パネルのお手入れについて

●本機のパネル表面は、反射による映り込みや、赤外線カットの為の特殊コーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。
●化学ぞうきんやクリーナーは、その成分により、パネル表面の特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。
●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面の特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。
●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
●スプレークリーナーは、パネル表面の特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

■ キャビネットのお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
亀裂が生じたり、変質・塗料がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんやクリーナー、ワックスは、含まれている成分により、キャビネットに亀裂が生じたり、変質の原因となりますのでご使用にならないでください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OAクリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類など

使用上のご注意（つづき）

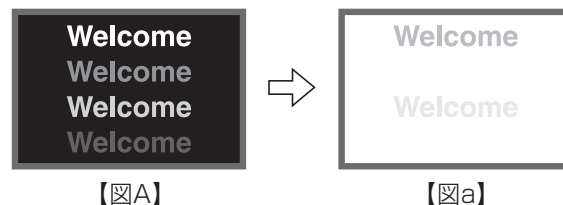
プラズマディスプレイの焼き付きについて

プラズマディスプレイはご使用方法によっては、パネルが焼き付いてしまう特性があります。以下に焼き付きに関する特性、効果的なご使用方法を記載します。

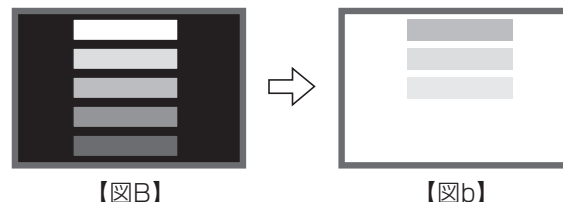
プラズマパネルの焼き付き特性について

プラズマパネルの焼き付き現象とは、局部的な文字・図形表示による局部蛍光体劣化で生じるものです。

例えば、右図Aの様な文字映像を長時間表示し続けた場合、文字表示部分の蛍光体（赤、緑、青）のみが劣化進行するため、図aの様に全面白映像などを表示した際に、それまで表示していた文字の跡が色差となって目に見えてしまうものであり、決して蛍光体が焼け焦げて生じるものではありません。

【図A】　【図a】

■映像焼き付きの度合いは、表示される文字・図形の**輝度(明るさ)**と、**表示時間**に比例します。

●蛍光体の劣化は、表示する文字・図形の輝度が高いほど進行する傾向にあり、図Bのように明るさの異なる図形映像を長時間表示し続けた場合、図bのように、高輝度(明るい)図形を表示していた個所ほど映像跡が目立ちやすくなります。

【図B】　【図b】

※本書記載の焼き付きイメージ図は、説明の為に誇張してあり、実際の見え方は、ご使用時間・明るさ等により異なります。

焼き付きの発生を軽減させるための方法

●プラズマモニターの“明るさ”“黒レベル”設定は可能な限り下げる。
本機には画面の明るさを抑制し、パネルの劣化を軽減する機能があります。
この設定により焼き付きの発生を軽減することができます。
（33 に示すパネルライフ（1または2）参照）

●プラズマモニターの“スクリーンワイプ”または“シェーディング”表示を行う。
静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示した場合には、表示終了後1～2時間ほど全面白映像を表示することにより発生を軽減することができます。また、時計表示、局名表示など画面の四隅に静止画像が表示される場合の焼き付きの発生を軽減させるには、シェーディング機能を「入」にしてお使いください。
（33 に示す機能設定メニューのスクリーンワイプおよびシェーディングにて設定できます）

●動画を併用する。
動画映像の場合、画面全体の蛍光体劣化が比較的均一に進むため、局所的な焼き付きの発生を抑えることができます。DVDなどの動画映像を交えながらご使用して頂くことをお勧めします。
＊2画面表示の状態での長時間放置は焼き付きの原因となりますので、ご注意願います。
＊テレビ放送では、映像の左右や上下がカットされた放送や、画面の同一個所に放送局名や時間表示を長時間表示しつづけることが有り、その部分が焼き付きとなることが予想されますので、ご注意願います。

お知らせ

■ 面欠点について
プラズマパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■ 残像について
静止画（画面表示など）やメニュー表示を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■ パネル表面について
プラズマパネルは、パネルの内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。
また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。パネルの前面には強化ガラス製のフィルターを取り付けていますが、ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

■ パネル駆動音について
電源を入れたときに、「ジー」というプラズマパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■ 輸送時について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスが破損する、または面欠点が増加する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ ご覧になる位置は
画面のたての長さの3～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■ 赤外線通信機器について
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

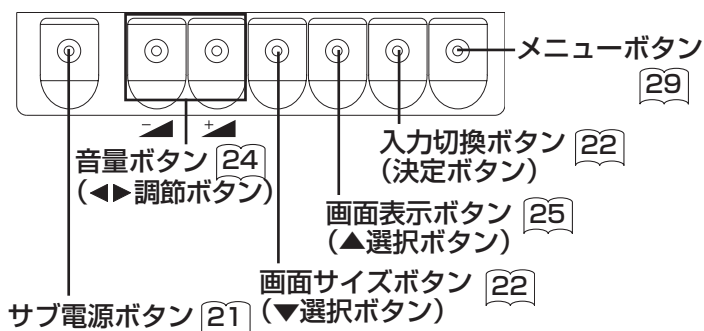
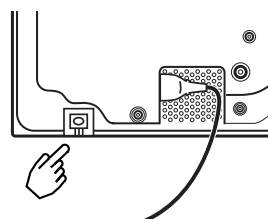
■ ラジオについて
本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

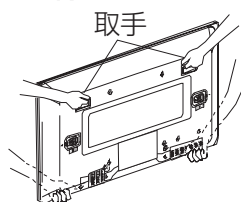
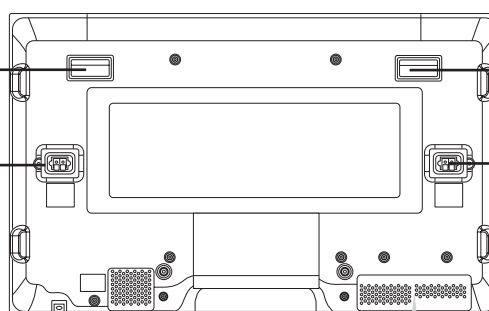
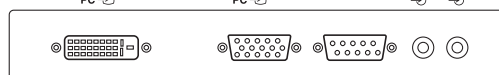
■ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

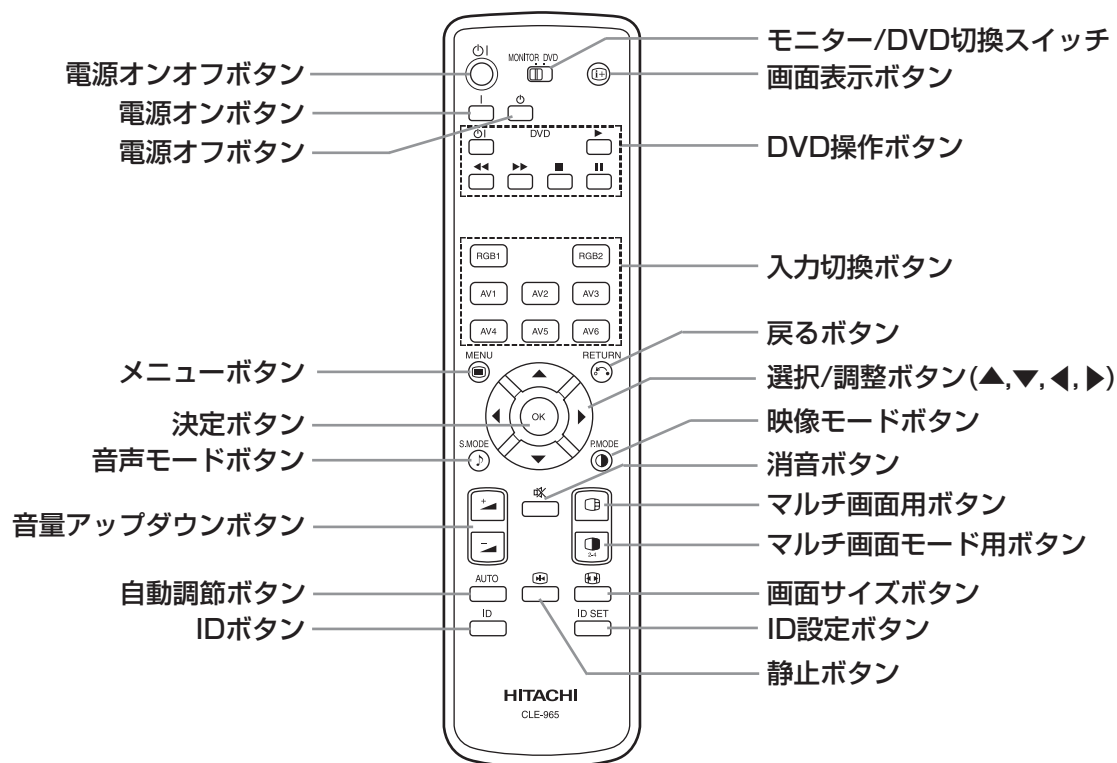
■ 焼き付きについて
静止画（画面表示など）や、パソコンやゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示したり、画面のサイズを4:3(ノーマル又はリアル)で長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
画面の焼き付きを避けるため、スクリーンセーバーの使用や、画面のサイズは4:3(ノーマル又はリアル)以外のモードで使用することをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
詳しくは 11 をご覧ください。

■ スピーカーの接続について
スピーカーは、指定（オプション）以外のスピーカーは、使用しないでください。故障の原因になる恐れがあります。

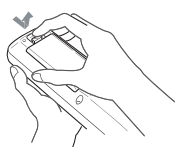
各部のなまえ

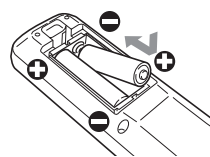
本　体

●（　）の中はメニュー画面が出ているときの機能を示します。

⚠注意　移動するとき

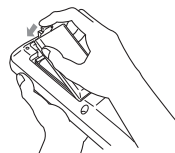
●この商品は重量物です。移動するときは、二人以上作業で持ち運びしてください。
●持ち運びは、取手と前面側から製品下側の両端部を持って製品を保持してください。

各部のなまえ（つづき）

リモコン

乾電池の入れかた

①電池ぶたをはずしてください。

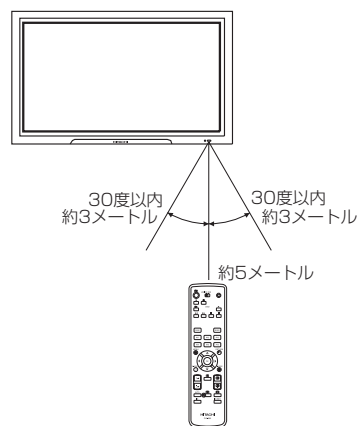
電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。

②乾電池を入れてください。

付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。電池の⊖表示側をバネの先端に押しつけながら電池を入れてください。

③電池ぶたを閉めてください。

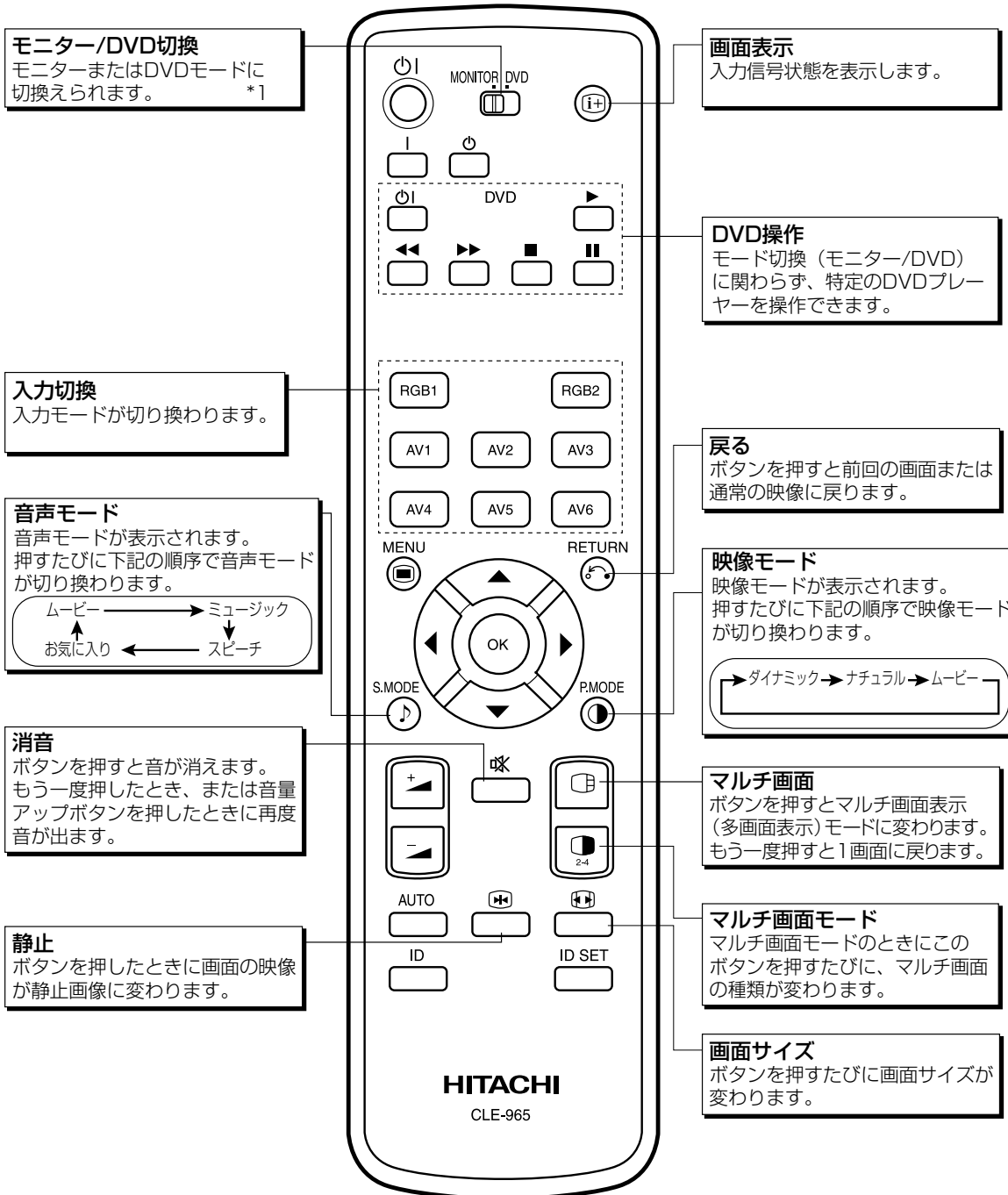
電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

⚠注意

- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ●電池を機器内に挿入する場合，極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

リモコンの取り扱い

リモコンは、モニター本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

お守りください

- ●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- ●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- ●リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- ●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにモニター本体の向きを変えてください。

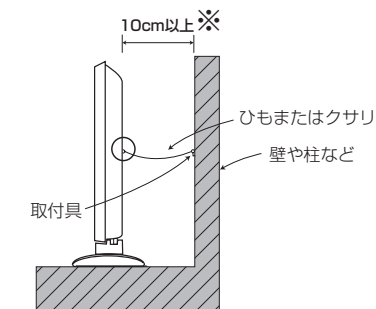
リモコン（つづき）

*1　モニター/DVD切換
メニュー（◙）、決定ボタン（OK）及び選択/調節ボタン（▲ ▼ ◀ ▶）はモニターとDVDで兼用になっています。
DVDプレーヤーのメニュー操作を必要とする場合にはこの切換スイッチをDVD側に設定してください。
DVDプレーヤーの通常の操作（再生、停止等）は本切換スイッチがモニター側にあっても操作可能です。

設置方法

据え付け

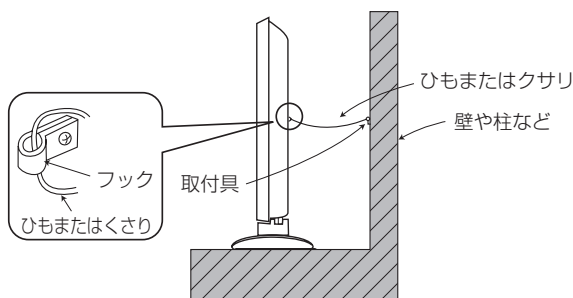
●本機は必ず別売のスタンド(CMPAD25)に取り付けてお使いください。
　本書の挿絵ではデスクトップスタンドが取り付けられた状態で書かれています。

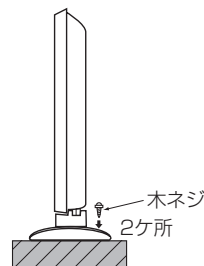
⚠警告
本機の据え付けには、性能および安全性を維持するために必ず専用のユニットをご使用ください。固定強度が不足したり、不適当な部材を使用すると、転倒したり落下して、火災・感電・けがの原因となります。指定外のユニット使用や、誤った設置方法により発生したけがや物的損害については、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

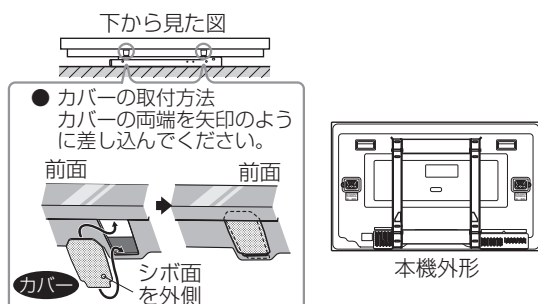
⚠注意
●別売の専用壁掛けユニットや天吊りユニットを使用される場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。
●本機内部の温度上昇を防止するため、背面の通気孔がふさがらないよう壁などから10cm以上（床置きの場合）空間距離を保ってください。通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。※

転倒防止について

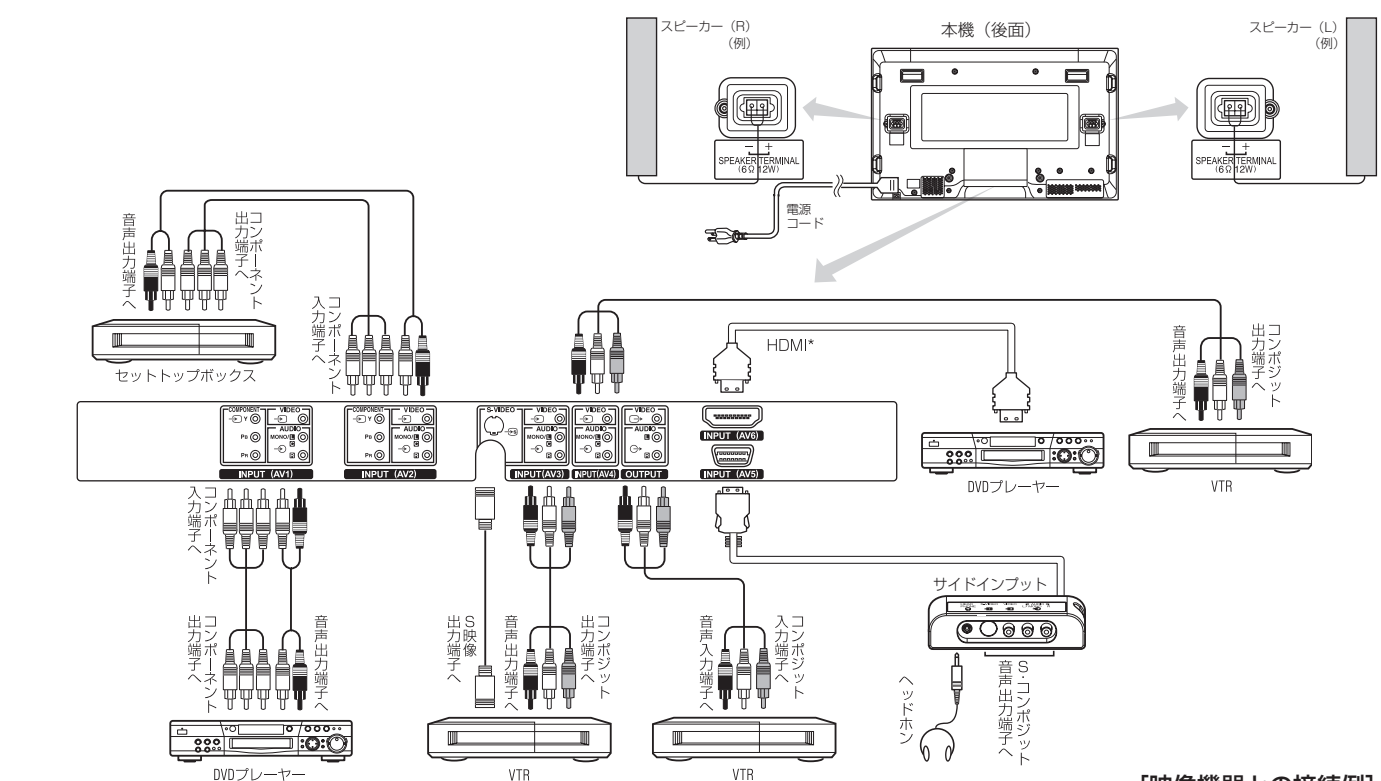
⚠注意
本機は安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。
本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
パネル部を左右に回転させたときに、支障にならない程度にひもまたはクサリをたるませてください。

壁または柱などに固定する場合

ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。

卓上などに固定する場合

①図のようにスタンド後部の固定用ネジ穴に木ネジなどで固定し、ご利用ください。（左右2ケ所）
②木ネジなどについては市販品をご利用いただき、しっかりと固定してください。

壁に設置/天井に設置する場合

壁掛け設置などで本体スタンド用穴が目立つ場合には同梱品のカバーを図に従ってご使用ください。

映像機器との接続

(1) 本機の電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
(2) 接続する映像機器の電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
(3) 本機後面の信号入力端子と、映像機器の信号出力端子とを、市販のケーブル・コネクタ類で接続してください。

［映像機器との接続例］

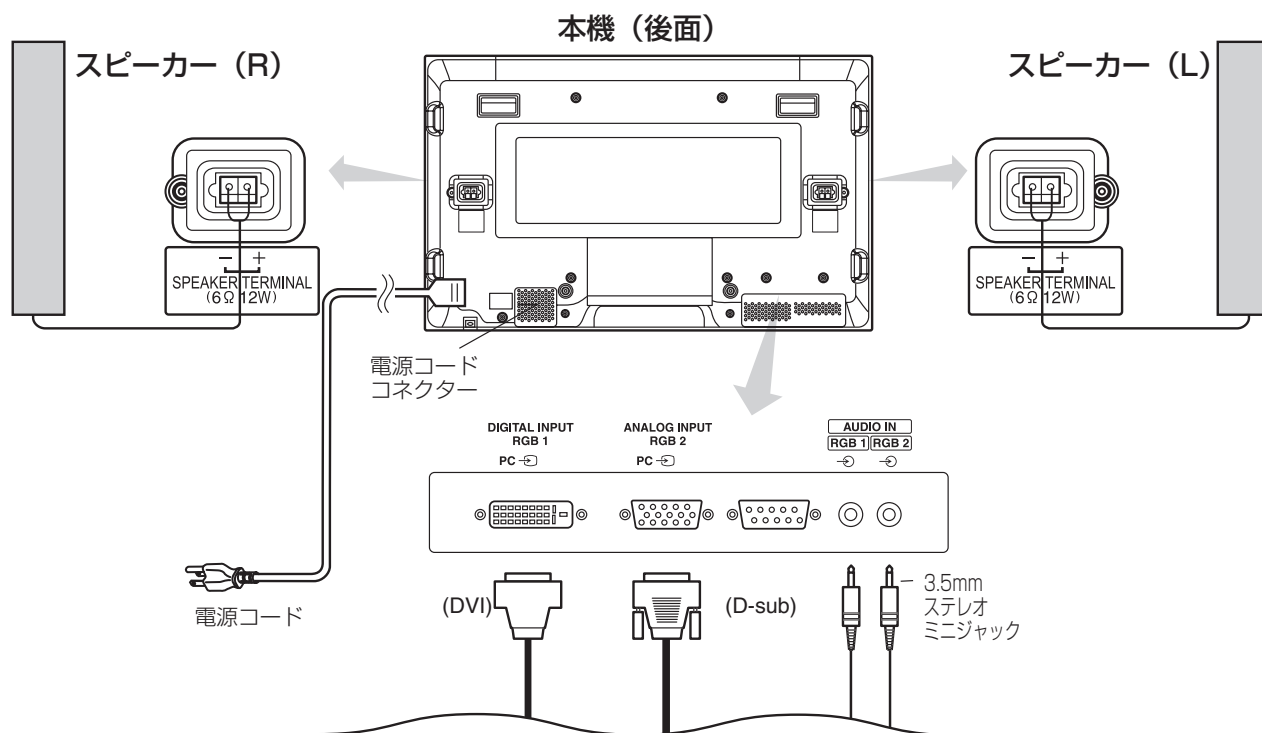
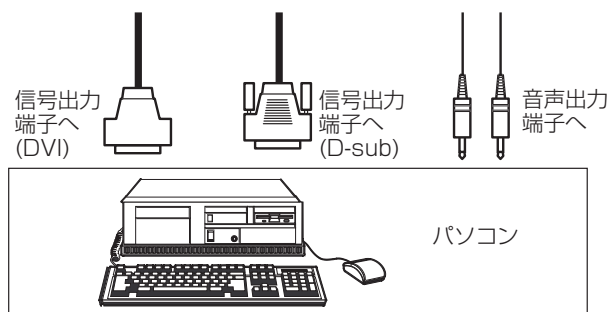
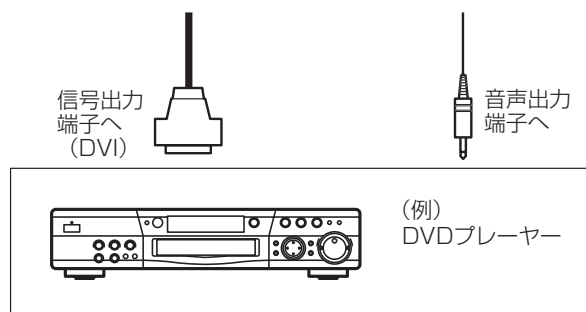
●AV1、AV2はコンポーネント、コンポジット同時接続の場合、コンポーネントを優先します。
●S映像出力端子付きの映像機器をご使用の際は、S映像ケーブルにより接続されることをおすすめします。より良い画質で映像をお楽しみいただけます。
（本機のAV3入力またはAV5入力（サイドインプット）はS映像入力端子とコンポジット映像入力端子が同時に接続されている場合は、S映像が優先されます）
●モニター出力端子に75Ω終端の外付けモニターを接続すれば、本機の画面と同じ映像を見ることができます。
（但し、本機のAV1〜AV5端子に入力されたコンポジット映像信号及び、AV3、AV5端子に入力されたS映像信号のみ）
●接続するケーブル類はスタンドに付属のクランプで固定してください。

HDMI*とは
●HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、DVI（Digital Visual Interface）をベースにAV機器向けに機能を追加したデジタルインターフェイスです。
デジタルなので伝送による劣化がなく、1本のケーブルで映像信号と音声信号の伝送が可能です。
●DVI-HDMI変換ケーブルを用いて接続の際、アナログ音声を使用する場合は、AV1入力のアナログ音声端子を使用してください。

パソコンとの接続

①ご使用になるパソコンのディスプレイ信号が、本機の仕様に合うことを確認してください。
・本機の仕様については「製品仕様」 46 ～ 50 をご参照ください。

②パソコンの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

③本機後面の信号入力端子(RGB1またはRGB2)と、パソコンのディスプレイ信号出力端子を接続してください。
・本機の入力端子とパソコンの出力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。
・接続するパソコンの種類によっては、パソコンに付属または別売の変換コネクターやアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書をお読みになるか、パソコンの製造元または取扱店にお問い合わせください。

● 設定：RGB1はDVI-PC、RGB2はRGB
詳細は 49 50 参照ください。

● 設定：RGB1はDVI-STB、RGB2はコンポーネント
詳細は 48 49 参照ください。

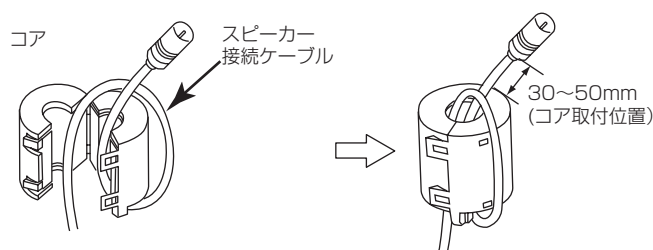
スピーカーユニット（オプション）の取り付けかた

オプションのスピーカーユニットの取り付けかたは、スピーカーユニット付属の取扱説明書を参照してください。
但し、サイドインプットご使用時は、下記を参照してください。

●専用スピーカー以外のスピーカーユニットについて

本機専用スピーカー以外のスピーカーシステムと本機モニターを接続する場合、他の機器への電波妨害を抑制するためにスピーカー接続ケーブルに付属のフェライトコアを巻きつけてご使用願います。

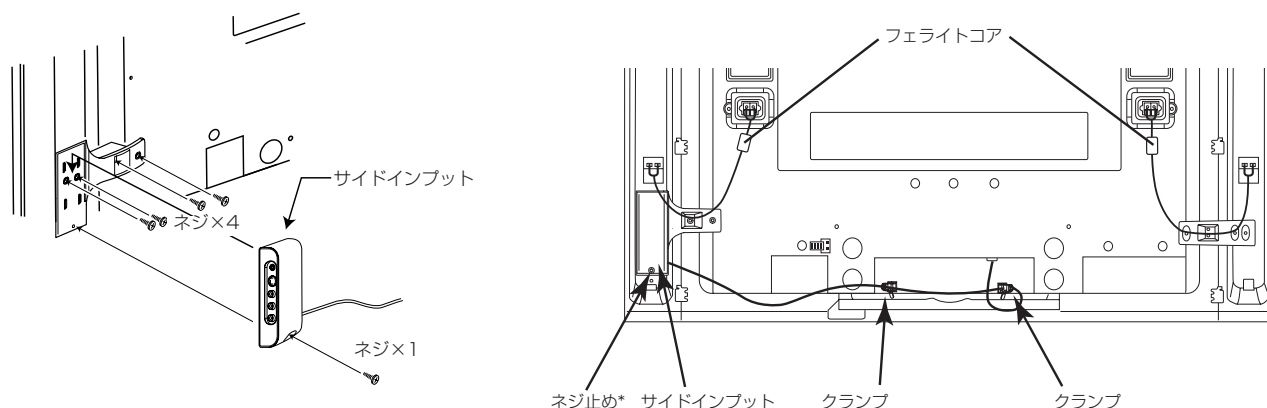
フェライトコアの取り付け方

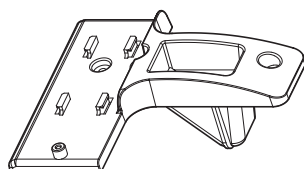
コアをあけた状態でスピーカー接続ケーブルを1回巻きつけ、コアを閉じます。
（左）（右）とも同様に取り付けてください。

サイドインプットの取り付けかた

スピーカーを取り付けたとき

1. サイドインプット固定用のスピーカーホルダーを取り付ける。

2. スピーカーホルダーにサイドインプットを取り付ける。

スピーカーホルダー（下）のフック（4箇所）をサイドインプットのボックス部の穴に引っ掛け、カチッとなるまで下にずらす。
その後スピーカーホルダーとサイドインプットをネジで固定する。
サイドインプットの接続については 17 を参照ください。
ケーブルの処理は下図に従って行ってください。

スピーカー取り付け時のスピーカーホルダー

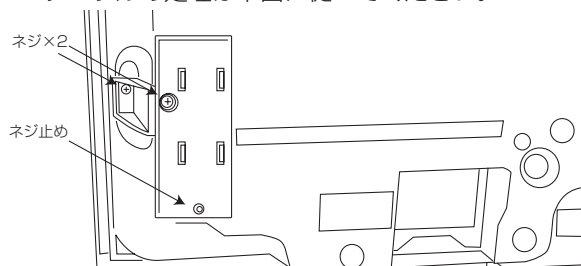
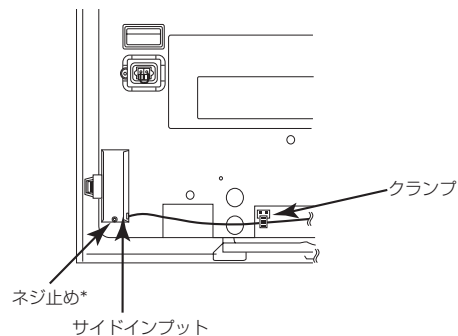
このホルダーは付属されています。

設置方法（つづき）

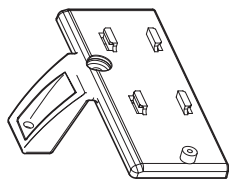
サイドインプットの取り付けかた（つづき）

スピーカーを取り外したとき

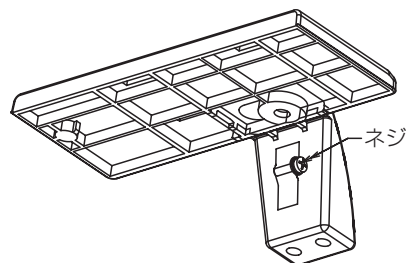
1. サイドインプット固定用のホルダーを取り付ける。

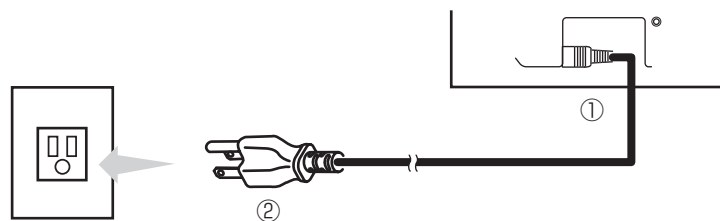
2. サイドインプット固定用ホルダーにサイドインプットを取り付ける。

その後スピーカーホルダーとサイドインプットをネジで固定する。
ケーブルの処理は下図に従ってください。

＊ 固定用ネジについては次ページお知らせの欄を参照してください。

スピーカー取り外し時のホルダー

このホルダーは付属されています。

お知らせ

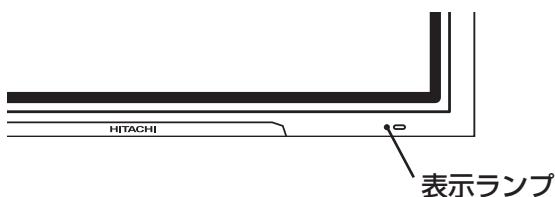
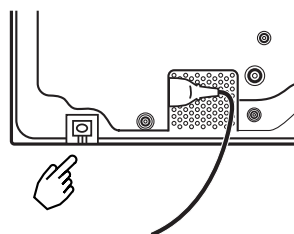
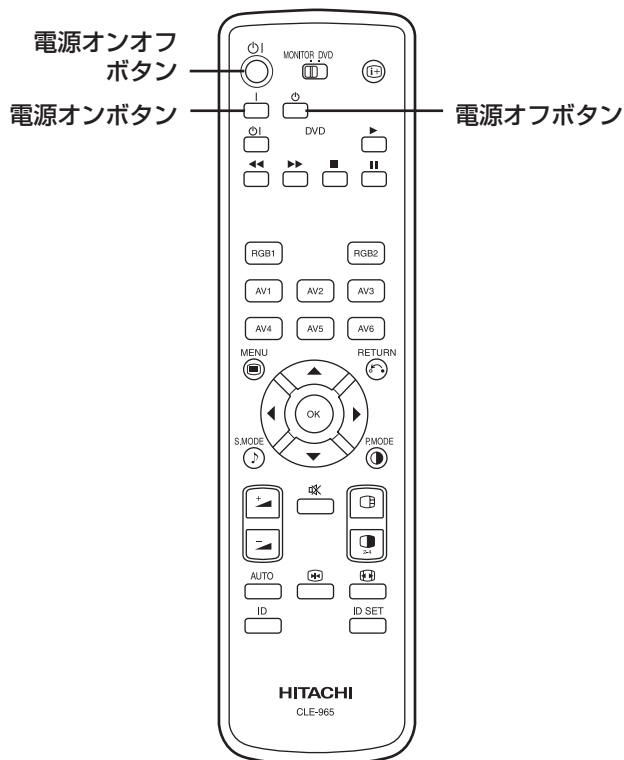
サイドインプットの固定ネジについて

●この図のように、固定用のネジはスピーカー取り外し時用のホルダーにテープ止めされています。
●固定用のネジは、スピーカー取り付け時用ホルダーおよびスピーカー取り外し時用ホルダーのどちらにもご使用いただけます。

電源コードの接続

機器の接続をすべて行った後で、最後に電源コードをつなぎます。

①電源コードを本機に接続する。
②電源コードのプラグをコンセントに差し込む。

⚠注意

●電源コードは必ず付属のものをお使いください。
●指定の電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
●付属の電源コードは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

操作方法

主電源スイッチ

言語設定について

「オンスクリーンディスプレイシステム」の「言語設定」（Language）は英語（English）に初期設定されています。
以下は「言語設定」（Language）で「日本語」を選択した場合の表記で説明しています。
（日本語表示への切換方法については 39 をご参照ください。）

電源の入/切

●モニターの電源を入れるには、モニター本体の主電源スイッチをオンにした後、コントロールパネルのサブ電源ボタンかリモコンの電源オンオフボタンまたは電源オンボタンを押してください。
●モニターの電源を切るには、コントロールパネルのサブ電源ボタンかリモコンの電源オンオフボタンまたは電源オフボタンを押したあとに、モニター本体の主電源スイッチをオフにしてください。
・通常のご使用時は、主電源スイッチをオンにした状態で、サブ電源ボタンかリモコンの電源オンオフボタンでモニターの電源を入/切（スタンバイ）することができます。

ランプ表示について

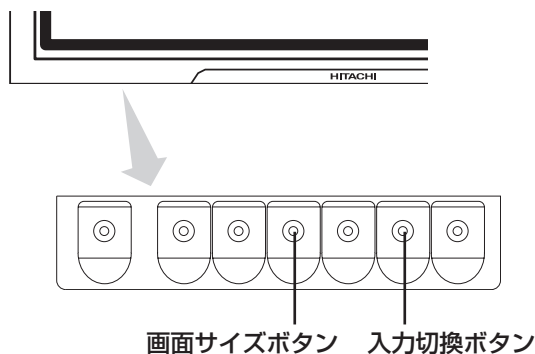
表示ランプ	電源の状態	操　　作
無点灯	切	主電源スイッチオフ時
赤点灯	切 （スタンバイ）	主電源スイッチオン、リモコンの電源オフボタンまたは前枠底面のコントロールパネルのサブ電源ボタンオフ時、また電源オンオフボタンのオフ時
緑点灯	入	主電源スイッチオン、リモコンの電源オンボタンまたは前枠底面のコントロールパネルのサブ電源ボタンオン時、また電源オンオフボタンのオン時
橙点灯	切 （パワーセーブ）	主電源スイッチオン、リモコンの電源オンボタンまたは前枠底面のコントロールパネルのサブ電源ボタンオン時、また電源オンオフボタンのオン時 但し、パワーセーブモードの状態

表示ランプが橙点灯したり、画面に「信号を入力してください」「パワーセーブ」または「信号を確認してください」のメッセージが表示された場合は、「パワーセービングシステム」、「故障とまちがえやすい現象」 41 ～ 43 をご参照ください。

お守りください

●電源の頻繁な入/切の繰り返しはおやめください。
故障の原因となることがあります。
●長時間ご使用にならないときは、主電源スイッチをオフにしてください。
●本機が動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。モニター本体から離れるときは、モニター本体の主電源スイッチを切っておいてください。

操作方法（つづき）

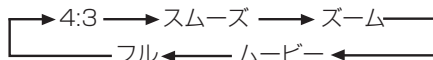
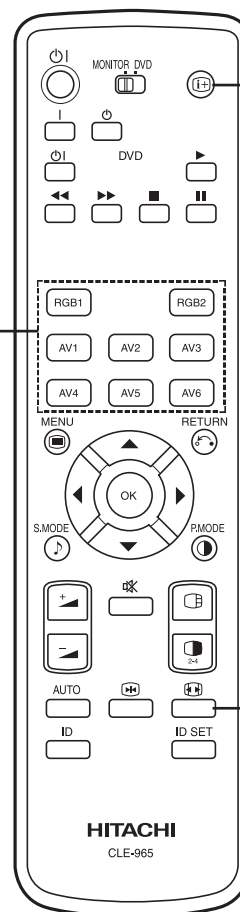
画面表示ボタン
入力切換ボタン
画面サイズボタン

入力切換

●リモコンのAV1～AV6、RGB1またはRGB2ボタンを押すと、入力が切り換わります。
●コントロールパネルの入力切換ボタンを押すと、AV1→AV2→AV3→AV4→AV5→AV6→RGB1→RGB2の順に入力が切り換わります。

AV1→AV2→AV3→AV4→AV5→AV6→RGB1→RGB2

サイズ切換

リモコンまたはコントロールパネルの画面サイズボタンを押すたびに、表示サイズが順次切り換わり、画面下部に状態を表示します。

●ビデオ入力時（AV1, AV2, AV3, AV4, AV5, AV6, RGB1（[DVI-STB] 設定時）,RGB2（[コンポーネント] 設定時））

・1080i/50, 1080i/60, 720p/60のコンポーネント信号受信時は、表示サイズはフルモードに固定されます。

表示サイズ選択時の表示概略図

こんなときは	表示サイズ設定	入力信号	表示画面	備考
16:9の画面に4:3映像を忠実に出す。	4:3	(4:3 信号)		両サイドにブランクが生じます。
16:9の画面に4:3映像を、画面中央の縦横を等比率で拡大し、両サイドはより拡大して出す。	スムーズ			
4:3映像の中の16:9のビスタサイズの映像を16:9の画面で忠実に再生する。	ズーム	(ビスタ)		・このときの4:3映像をレターボックス映像と言います。 ・上下にブランクが多少残る場合があります。
4:3映像の中の21:9のシネマサイズの映像を16:9の画面に垂直拡大して再生する。	ムービー	(シネマ)		上下にブランクが多少残る場合があります。
4:3映像に垂直サイズは標準で横圧縮（スクイーズ）※された映像を16:9の画面で忠実に再生する。	フル	(スクイーズ)		※）アスペクト比（画面の横：縦比）16:9の画面を横方向に圧縮して4:3の画面に収めた映像信号です。

操作方法（つづき）

サイズ切換（つづき）

［スムーズ］，［ズーム］，［ムービー］の各モードでは、映像の垂直位置が下記のように調整できます。
1. 画面サイズボタンを押し、サイズモード表示が出ている間に▲▼ボタンを押してください。
2. “位置”表示が現れます。
3. 各映像サイズの垂直位置の調節範囲は次の通りです。

[スムーズ]	－ 12 ～＋12
[ズーム]，[ムービー]	－ 31 ～＋31

4. 1080i/60コンポーネント信号受信時は、垂直位置は1ステップだけ調節できます。（範囲：0～+1）

▲ ボタン押し

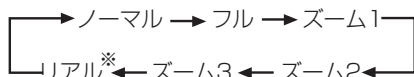
▼ ボタン押し

お守りください

ワイド画面モニターのご使用に関して

- ●このモニターは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などの映像ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- ●このモニターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ●ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像を、スムーズモードを利用して画面いっぱいにしてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3モードでご覧になれます。

●RGB入力時（RGB1[DVI-PC] および RGB2[RGB]）

→ノーマル → フル → ズーム1 → ズーム2 → ズーム3 → リアル※ →

※）このモードはVGA（640×480）およびWVGA（864×480）信号についてのみ表示可能です。

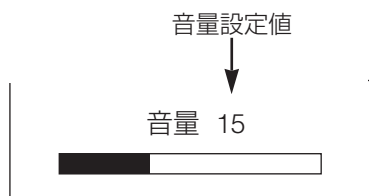
表示エリア選択時の表示概略図（RGB入力）

解像度	全体表示	真円表示				
表示	フル	ノーマル	リアル	ズーム1	ズーム2	ズーム3
640 X 480 (VGA)						
800 X 600 (SVGA)						
1024 X 768 (XGA)						
1280 X 1024 (SXGA)						
1600 X 1200 (UXGA)			※VGA,WVGAのみ			

上記信号表示のため、圧縮（間引き）・拡大などの処理を行っています。このため、ズーム(1～3)では表示内容によってはフリッカーが目立つことがあります。このときは、垂直フィルター設定（32）を「入」にすることで軽減することができます。

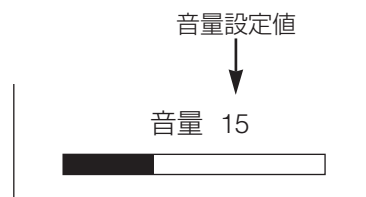
操作方法（つづき）

音量調節

リモコンの音量アップダウンボタン（+◢、−◢ボタン）またはコントロールパネルの音量ボタン（+◢、−◢ボタン）を押すと、音量を調節することができます。

調節状態ガイド表示

●音量アップダウンボタンを押すと、調節状態をガイド表示します。
- ・ガイド表示しているときに +◢ ボタンを押すと音量が大きくなります。
- ・ガイド表示しているときに −◢ ボタンを押すと音量が小さくなります。

音声ミュート（消音）

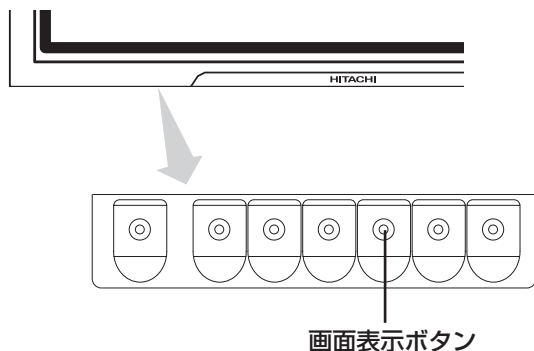
リモコンの消音ボタンを押すと、音を一時的に消すことができます。

調節状態ガイド表示

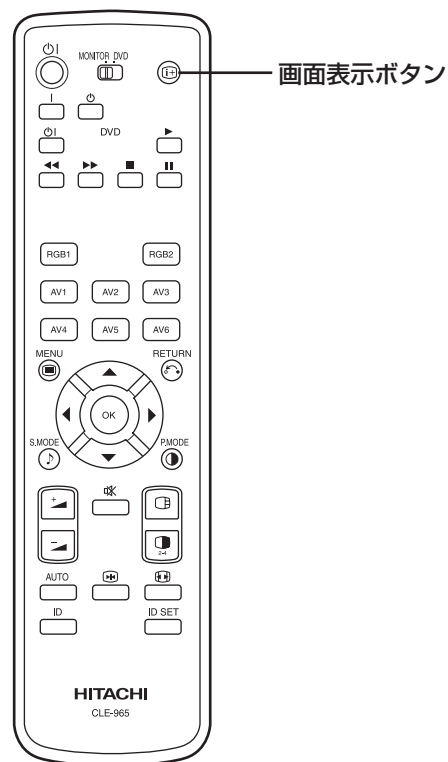
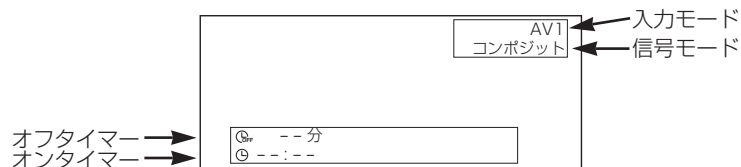
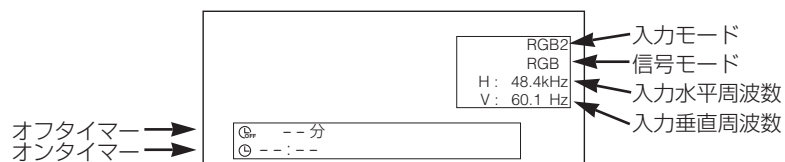
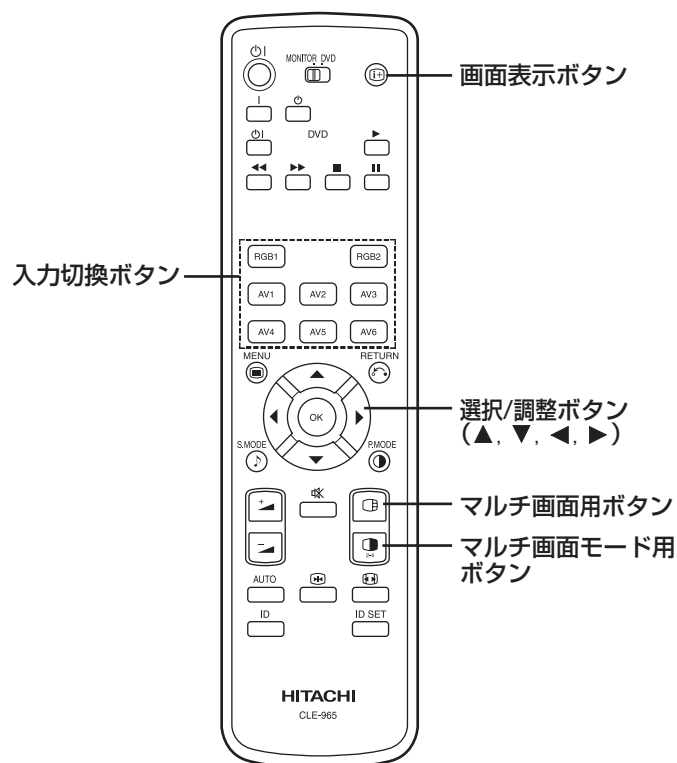
（表示色がマゼンタに変わる：音量→消音）

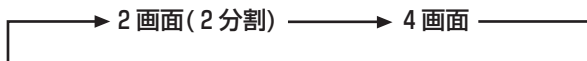
●消音ボタンを押すと、音量設定状態がガイド表示（マゼンタ色）されます。
- ・消音状態のときに −◢ ボタンを押すと、音量設定値を小さくすることができます。
- ・消音状態のときに +◢ ボタンを押すと、消音状態を解除します。
- ・ヘッドホン端子からの音声は消音がかかりません。
- ・サイドインプット（AV5）のヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると自動的に音声ミュート（消音）状態となります。

もう一度リモコンの消音ボタンを押すと、消音状態が解除され再び音が出て、音量設定状態がガイド表示（緑色）されます。

操作方法（つづき）

入力信号画面表示

リモコンまたはコントロールパネルの画面表示ボタンを押すと、入力信号状態を画面に表示することができます。

・表示は約6秒で消えます。

ビデオ入力時

RGB入力時

マルチ画面表示

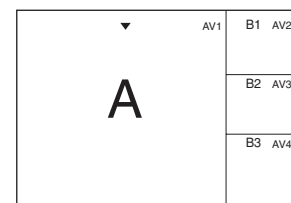
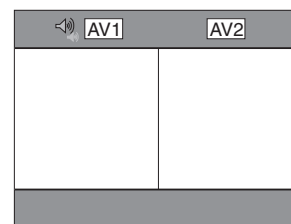
リモコンのマルチ画面用ボタンを押すと、マルチ画面を表示します。さらにリモコンのマルチ画面モード用ボタンを押すと、2種類の画面を選択することができます。
マルチ画面モード用ボタンを押すたびに、マルチ画面表示モードは次の順序で切り換わります。

ビデオ入力画面から2分割モードにする場合

マルチ画面用ボタンを1回押すと、2画面表示になります。

・選択ボタンの ◀ ▶ ボタンを押すとスピーカーアイコンが左右に移動し、アイコンのある方の入力の音声が出力されます。
・同じ入力モードを同時に左右の画面に表示することはできません。
・マルチ画面用ボタンをもう一度押すと、2画面表示は解除されます。
・2画面（2分割）モード表を参照願います。27

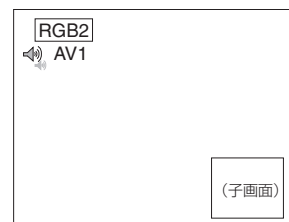
ビデオ入力画面から 4 画面モードにする場合

2 画面表示モードでマルチ画面モード用ボタンを 1 回押すと、 4 画面表示になります。

・リモコンの選択ボタンの ◀ ▶ ボタンで、右図AまたBの赤い三角マークが表示される画面を選んでください。右側の画面については、リモコンの ▲ ▼ 選択ボタンを押してどれか 1 つを選びます。選択された画面の入力表示が緑になります。
・ 4 画面表示モードでは右図A側の音声のみが出力されます。
・右図のB側にはコンポーネント信号を表示することはできません。 4 画面モード表を参照願います。27
・ 4 画面表示モードにおいてマルチ画面用ボタンを押すと、マルチ画面表示は解除されます。さらにもう一度マルチ画面用ボタンを押すと、 4 画面表示モードになります。

マルチ画面表示（つづき）

RGB入力画面からマルチ画面モードにする場合

マルチ画面用ボタンを1回押すと、2画面表示になります。

- ・このモードはRGB1（DVI-PC）入力およびRGB2（RGB）入力から表示できます。
- ・選択ボタンの ◀ ▶ ボタンを押すとスピーカーアイコンが上下に移動し、アイコンのある方の入力の音声が出力されます。
- ・▲▼ボタンを押すと子画面の位置を上下に移動できます。
- ・右図のようにスピーカーアイコンが子画面側入力表示の左にある状態のとき、子画面の入力モードをAV1～AV6に選択することができます。
- ・マルチ画面用ボタンをもう一度押すと、2画面表示は解除されます。
- ・子画面の信号が1080i/50または1080i/60コンポーネント信号の場合は、初期設定メニューの周波数モードを「ムービー」に設定してください。

AV1：子画面のビデオ入力モードが表示されます。

お知らせ

- ●マルチ画面表示時は、水平/垂直同期信号(またはビデオ信号)が入力されなくなっても、パワーセーブモードへは移行しません。
- ●マルチ画面表示状態の長時間放置は焼き付きの原因になりますのでご注意願います。

2画面モード表(2分割)［ビデオ入力時］

入力端子		AV1～AV5		AV1, AV2, AV6					RGB1	RGB2
	子画面／親画面	PAL SECAM	NTSC3.58 NTSC4.43	576i 576p	480i 480p	1080i /50	1080i /60	720p /60	STB	コンポーネント
AV1～AV5	PAL, SECAM	○	○	○	○	○	○	○		
	NTSC3.58/4.43	○	○	○	○	○	○	○		
AV1 AV2 AV6	576i, 576p	○	○	○	○	○	○	○		
	480i, 480p	○	○	○	○	○	○	○		
	1080i/50	○	○	○	○	○	○	○		
	1080i/60	○	○	○	○	○	○	○		
	720p/60	○	○	○	○	○	○	○		
RGB1	STB									
RGB2	コンポーネント	○	○	○	○	○	○	○		

(○：表示可能)

親　子

4画面モード表［ビデオ入力時］

入力端子		AV1～AV5		AV1, AV2, AV6					RGB1	RGB2
	子画面／親画面	PAL SECAM	NTSC3.58 NTSC4.43	576i 576p	480i 480p	1080i /50	1080i /60	720p /60	STB	コンポーネント
AV1～AV5	PAL, SECAM	○	○							
	NTSC3.58/4.43	○	○							
AV1 AV2 AV6	576i, 576p	○	○							
	480i, 480p	○	○							
	1080i/50	○	○							
	1080i/60	○	○							
	720p/60	○	○							
RGB1	STB									
RGB2	コンポーネント	○	○							

(○：表示可能)

親　子1　子2　子3

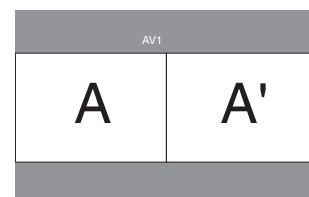
操作方法（つづき）

静止画表示

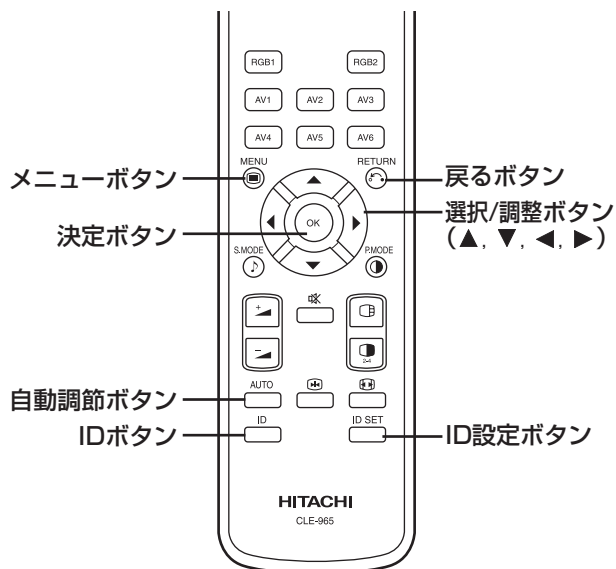
リモコンの静止ボタンを押すと、画面が静止画表示モードに変わります。

・静止画モードでは、１つの信号について左側の画面に動画を、右側の画面に静止画を表示するモードです。
・もう一度静止ボタンを押すと通常画面に戻ります。
・下記の機能表を参照してください。

AV1

A	A'

PAL, SECAM	○
NTSC3.58/4.43	○
576i	○
480i	○
576p	○
480p	○
1080i/50	○
1080i/60	○
720p/60	○
RGB, DVI-PC	

(○：表示可能)

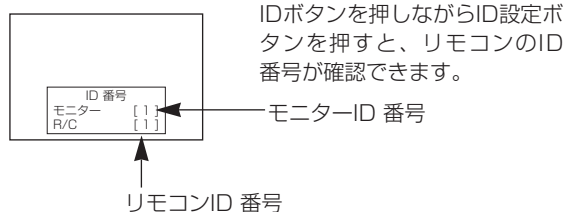
操作方法（つづき）

画面の位置やクロックを自動調整する

リモコンの自動調節ボタンを押すことにより、自動的にPC信号に合った画面の位置やクロックに調整することができます。

> **⚠注意**
> この調整は、RGB入力および各信号について行ってください。

※信号によっては、最適に調整できない場合があります。この場合は、初期設定の項を参照の上、調整してください。31

複数のモニターを個別に操作する（ID 番号）

リモコンのID 番号を設定することで、最大7台までのモニターを個別にコントロールすることができます。
IDボタンを押しながら、ID設定ボタンを2秒以上押すと、リモコンID 番号 2(初期 ID 番号1)が設定されます。押し続けると数字が繰り上がります。(2…6→7→1→2)

IDボタンを押しながら、リモコンの各ボタンを押すとID リモコンとして動作し、リモコン ID 番号とモニターID 番号が同じモニターのみ操作することができます。

・ID ボタンを押さないで、リモコンの各ボタンを押したときは、通常のリモコンとして動作します。
・モニターは、機能設定メニューの ID 番号で設定します。33

メニュー画面の使いかた（オンスクリーン ディスプレイ システム）

リモコンまたはコントロールパネルのメニューボタンを押すと、調節用メニュー画面が表示され、選択/調節ボタン（ ▲, ▼, ◀ , ▶ ボタン）および決定ボタンを使って信号の調節や設定をすることができます。

・調節項目や設定内容については30 ～ 40 をご覧ください。

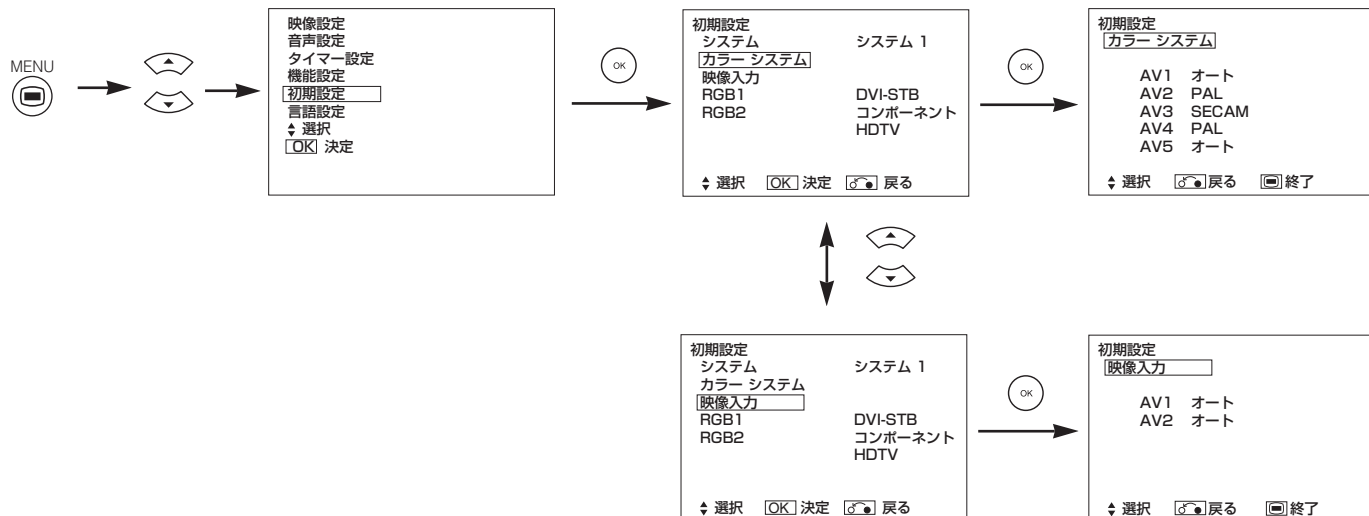
例：映像設定画面の選びかた（PC）

1.メニューボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

2.決定ボタンを押すと映像設定画面が表示されます。（他の項目を選ぶときは、▲ ,▼ ボタンで選択します）

3.▲ ,▼ ボタンで調節したい項目を選択し、◀, ▶ ボタンで調節します。（例：明るさ）

・戻るボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。
・1分間入力操作がないときは、自動的に調節メニューの画面表示が解除されます。

初期設定（ビデオ入力時）

調節項目	◀	▶	設定のポイント
システム	システム1 ⟷ システム2		システム1：欧州/アジア、システム2：北米
カラーシステム			
AV1～AV5	システム1 オート ⟷ PAL ⟷ SECAM ⟷ NTSC3.58 ⟷ NTSC4.43 システム2 オート ⟷ NTSC-M ⟷ PAL-N ⟷ PAL-M		AV1～5映像入力端子に接続された機器からの信号のカラーシステムに合わせます。 ・通常オートに設定します。入力された信号のカラーシステムを自動的に判別します。 ・オートにして、信号にノイズが多い場合や信号レベルが小さい場合、動作が不安定な場合には、入力信号のカラーシステムに合わせて設定してください。 ・コンポーネント信号が入力された場合には、この機能は無効となり表示がグレーになります。
映像入力			
AV1，AV2	オート ⟷ HDTV ⟷ SDTV/DVD		AV1，2映像入力端子に接続された機器からの信号のモードに合わせます。 ・通常オートに設定します。入力された信号モードを自動的に判別します。 ・オートにして、信号にノイズが多い場合や信号レベルが小さい場合、動作が不安定な場合には、入力信号モードに合わせて設定してください。
RGB1	DVI-PC ⟷ DVI-STB		RGB1 DVI端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。
RGB2（第1段階）	RGB ⟷ コンポーネント		RGB2 D-sub端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。
RGB2（第2段階）	オート ⟷ HDTV ⟷ SDTV/DVD		上記第1段階が“コンポーネント”に設定された場合のみこの段階を設定します。 RGB2 D-sub端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。 ・通常オートに設定します。入力された信号モードを自動的に判別します。 ・オートにして、信号にノイズが多い場合や信号レベルが小さい場合、動作が不安定な場合には、入力信号モードに合わせて設定してください。

初期設定（RGB入力時：RGB1（DVI-PC）およびRGB2（RGB））

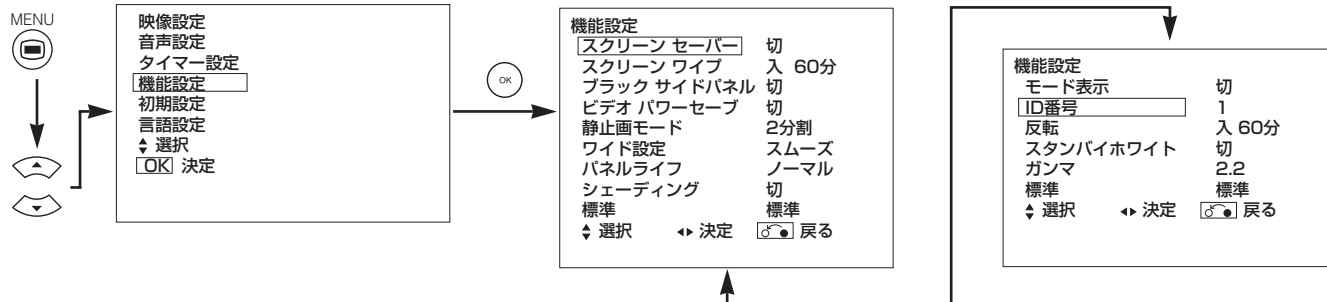
調節項目	◀	▶	設定のポイント
自動調節（※）	−	（調節） ここで決定ボタンを押すと自動調節を開始します。	水平位置・垂直位置・クロック・位相を自動調節します。
水平位置	左へ移動する	右へ移動する	左右の表示位置を合わせます。 移動可能な範囲を越えると画面表示がマゼンダになります。 RGB1（DVI-PC）では、グレー表示になります。
垂直位置	下へ移動する	上へ移動する	上下の表示位置を合わせます。 移動可能な範囲を越えると画面表示がマゼンダになります。 RGB1（DVI-PC）では、グレー表示になります。
クロック	ドットクロック周波数が低くなる（右側が縮む）	ドットクロック周波数が高くなる（右側が伸びる）	縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。 RGB1（DVI-PC）では、グレー表示になります。
位相	ドットクロック位相を遅らせる（左へ少しずれる）	ドットクロック位相を進める（右へ少しずれる）	横方向の縞や文字のにじみが最少になるように調節します。 RGB1（DVI-PC）では、グレー表示になります。
標準			▶ ボタンを押し、決定ボタンを押すと、このメニュー画面の各項目が工場出荷時の標準設定に戻ります。
入力レベル	0.7V ⟷ 1.0V		通常は「0.7V」でご使用ください。白つぶれが激しいときに「1.0V」にします。 RGB1（DVI-PC）で動作しません。
周波数表示	切 ⟷ 入		入力信号画面表示機能で、PC信号の周波数情報を表示しない場合は「切」に設定します。
WVGAタイプ	切 ⟷ 入		WVGA信号入力時のみ有効な機能です。 「入」に設定したとき、サイズ切換機能で画面表示をフルモードとリアルモードに切換可能です。 （RGB2（アナログ）入力時のみです。RGB1（DV1-PC）では動作しません。）
WXGAモード	切 ⟷ 1280x768 ⟷ 1366x768		WXGA信号入力時のみ有効な機能です。 （RGB2（アナログ）入力時のみです）

初期設定（RGB入力時：RGB1（DVI-PC）およびRGB2（RGB））（つづき）

調節項目	◀	▶	設定のポイント
垂直フィルター	切 ↔ 入		画面フリッカーが気になるときに「入」にします。
周波数モード	ムービー ↔ PC		パソコンで動画を見るときに「ムービー」にします。
RGB1	DVI-PC ↔ DVI-STB		RGB1 DVI端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。
RGB2（第1段階）	RGB ↔ コンポーネント		RGB2 D-sub端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。
RGB2（第2段階）	オート ↔ HDTV ↔ SDTV/DVD		上記第1段階が“コンポーネント”に設定された場合のみこの段階を設定します。 RGB2 D-sub端子に接続された機器からの信号モードに合わせます。 ・通常オートに設定します。入力された信号モードを自動的に判別します。 ・オートにして、信号にノイズが多い場合や信号レベルが小さい場合、動作が不安定な場合には、入力信号モードに合わせて設定してください。

※PC信号によっては、自動調節で最適画面にならない場合があります。このような場合にはマニュアルにて最適な調節を行ってください。

操作方法（つづき）

機能設定

調節項目	◀	▶	設定のポイント
スクリーンセーバー	切 ↔ 5分 ↔ 10分 ↔ 20分 ↔ 40分 ↔ 60分		ロゴなどの静止画像を表示した後、それが消えても薄く跡が見えてしまうパネルの焼き付き現象を低減するために、設定された時間の周期で映像をスクリーン上においてわずかに移動させる機能です。
スクリーンワイプ	入	60分	静止画像表示による焼き付きを、画面全面に白パターンを表示することで軽減するための機能です。継続的に使用する場合は「入」、60分の時間限定で使用する場合は「60分」を選択し、決定ボタンを押してください。通常の画面に戻すときにはリモコンのメニューボタンか戻るボタンを押します。
ブラックサイドパネル	切 ↔ 入		画面サイズ設定がノーマルのときなどに画面の両サイドに表示されるグレー色のバーを、黒色にする機能です。電源オン時は常に「切」に設定されます。パネルの焼き付きを軽減するために「切」に設定することをおすすめします。
ビデオパワーセーブ	切 ↔ 入		ビデオ入力使用時、信号入力がないときに消費電力を節約するために使用します。 「入」にすると、信号入力のないAV入力端子を選択したとき、モニターの電源をスタンバイにします。
静止画モード	グレー表示		
ワイド設定	グレー表示		
パネルライフ	ノーマル ↔ 1 ↔ 2		映像設定メニューの明るさ設定にかかわらず、画面の明るさを抑える機能です。これにより消費電力を低減したり、パネルの劣化を軽減したりすることができます。消費電力はノーマル>1>2の順に少なくなります。 この項目が1または2のときに、映像メニューの明るさ設定値を変えると、自動的にノーマルに変わります。
シェーディング	切 ↔ 入		四隅のロゴ表示などによる焼き付き現象を生じにくくするための機能です。四隅の輝度は中央部より低くなります。
標準			▶ボタンを押し、決定ボタンを押すと、このメニュー画面の各項目が工場出荷時の標準設定に戻ります。
モード表示	切 ↔ 入		入力切換時や信号モードが変わるたびに、入力信号状態などを画面に表示する機能です。 切り換わる都度の表示がわずらわしいときは「切」に設定します。
ID番号	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6 ↔ 7		モニター本体にID番号を付与し、各モニターを別々にコントロールすることができます。（最大7台コントロール可能）
反転	入	60分	静止画像表示による焼き付きを、RGB各信号を反転させて表示することで軽減するための機能です。継続的に使用する場合は「入」、60分の時間限定で使用する場合は「60分」を選択し、決定ボタンを押してください。通常の画面に戻すときにはリモコンのメニューボタンか戻るボタンを押します。
スタンバイホワイト	切 ↔ 15分 ↔ 30分 ↔ 60分 ↔ 120分		静止画像表示による焼き付きを軽減するための機能で、モニターがパワーセービングモードに入ったとき、ここで設定された時間だけ画面全面に白パターンを表示させることができます。
ガンマ	2.2 ↔ 2.8		通常「2.2」にします。

映像設定（ビデオ入力時）

MENU
映像設定
音声設定
タイマー設定
機能設定
初期設定
言語設定
選択
OK 決定
OK
映像設定
映像モード ダイナミック
明るさ +31
黒レベル -31
色の濃さ 0
画質 +15
色あい 0
色温度 中
コントラストモード ノーマル
標準 標準
選択 OK 決定 戻る
映像モード ダイナミック
進む/戻る 選択 戻る
コントラストモード ノーマル
進む/戻る 選択 戻る
映像設定 ダイナミック
YNR 切
CNR 切
フィルム シアター 入
PAL コムフィルター 入
LTI 切
CTI 切
黒補正 切
オートカラー 切
標準 標準
選択 OK 決定 戻る
YNR 切
進む/戻る 選択 戻る
オートカラー 切
進む/戻る 入/切 戻る
映像設定 ダイナミック
色温度調節
カラー マネージメント
カラー デコーディング
選択 OK 決定 戻る
映像設定
色温度調節 する
振幅
赤 -63
緑 0
青 -31
カットオフ
赤 +31
緑 0
青 -31
標準 標準
選択 する/しない 戻る
映像設定
カラー マネージメント する
マゼンタ +60
赤 +30
黄 0
緑 +60
シアン +30
青 0
標準 標準
選択 する/しない 戻る
映像設定
カラー デコーディング
RGB R G B
赤 0
緑 +60
色の濃さ 0
色あい +31
標準 標準
選択 戻る 終了

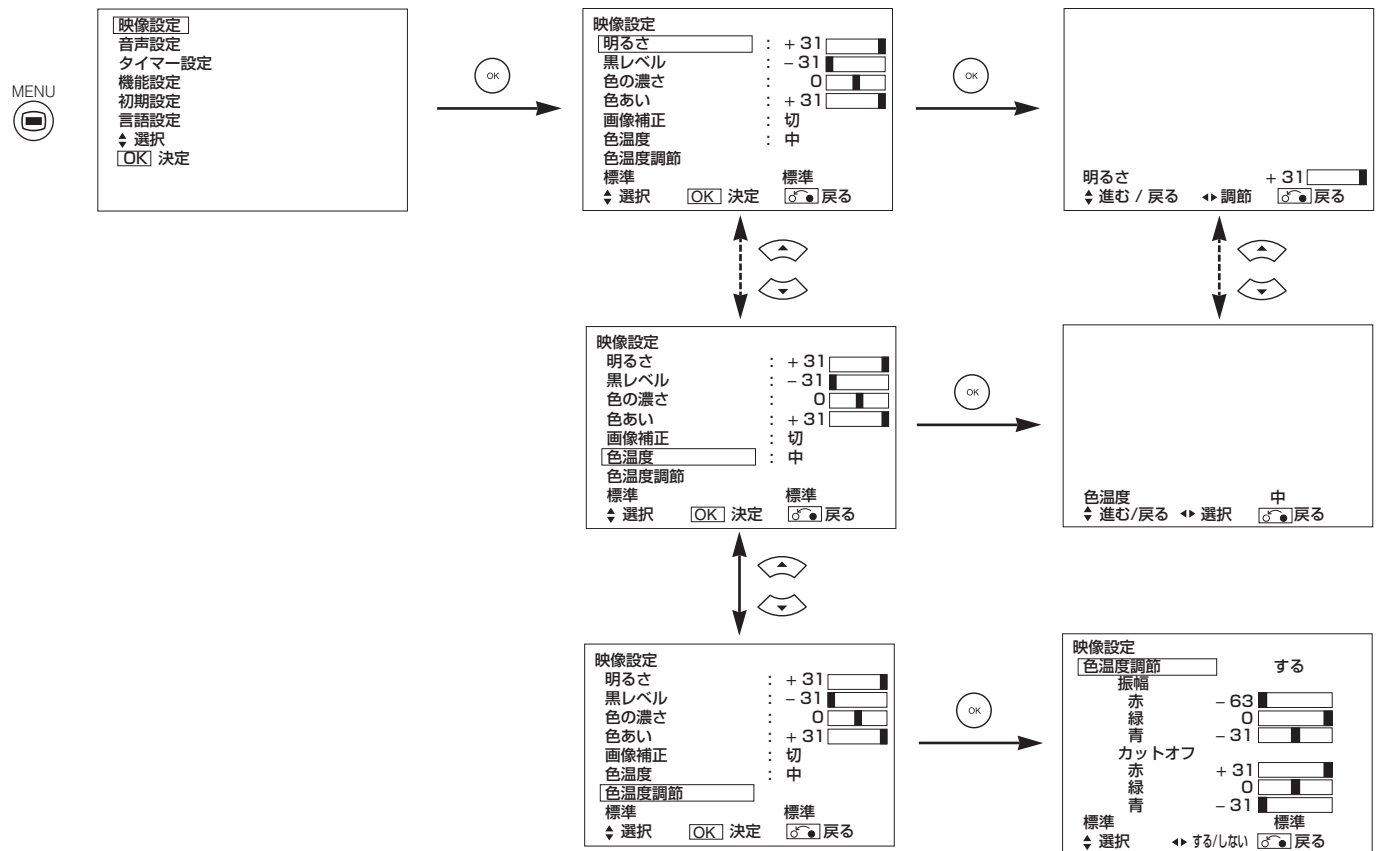
操作方法（つづき）

映像設定（ビデオ入力時）（つづき）

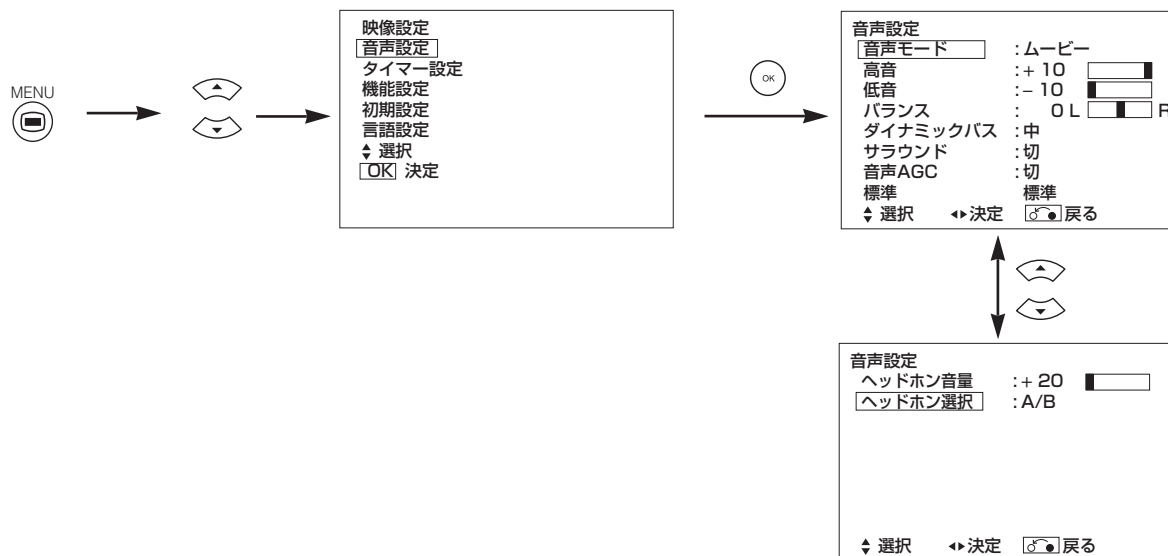
調節項目		◀	▶	設定のポイント
映像モード		→ダイナミック↔ナチュラル↔ムービー←		ダイナミック：周囲がかなり明るいときに適した設定です。 ナチュラル：普通の明るさのときに適した設定です。 ムービー：映画をご覧になるときに適した設定です。
明るさ		明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる	周囲の明るさに合わせて見やすく調節します。 設定値［+31］のとき、さらに▶ボタンを押し続けると最大［+40］まで上がり、調節状態ガイド表示が緑からマゼンタ色に変わります。これは暗いシーンをより見やすくするための特別なモードであり、明るいシーンでは逆に不鮮明になる場合がありますので、最大［+31］でご使用になることをおすすめします。 明るさを調節される場合、機能設定メニューのパネルライフ設定は「ノーマル」としてください。
黒レベル		黒が沈み、全体が暗くなる	黒が浮き、全体が明るくなる	お好みに合わせて調節します。
色の濃さ		色が薄くなる	色が濃くなる	お好みに合わせて調節します。
画質		やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	柔らかい感じにしたいときは－側へ、くっきりとさせたいときは＋側へ調節します。
色あい		赤が強く、緑が弱くなる	緑が強く、赤が弱くなる	肌色がよりきれいに見えるように調節します。 この機能はPAL/SECAM信号受信時には動作せず、ガイド表示はグレー色の選択不可となります。
色温度		→高↔中↔中低↔低←		お好みに合わせて調整します。
コントラストモード		→ノーマル↔オート↔ダイナミック←		ダイナミック：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。 ノーマル　：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。 オート　　：映像の明るい部分を検知して白つぶれのない自然な明るさに自動調節します。
標準				▶ボタンを押し、決定ボタンを押すと、このメニュー画面の各項目が工場出荷時の標準設定に戻ります。
YNR		→切↔弱↔強←		輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR		→切↔弱↔強←		色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。 DVI-STBモードのときは「切」に固定されます。
フィルムシアター		→切↔入←		「入」：映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実な再現をします。 「切」：映像の切り換わり時が自然に見えないときは「切」にします。
PALコムフィルター		→切↔入←		PALコンポジット信号入力時のみ有効な機能です。 「入」に設定すると、細かい部分の色にじみを軽減して、より良い色再現をします。
LTI		→切↔弱↔中↔強←		輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI		→切↔弱↔中↔強←		色信号の鮮鋭度を調節できます。
黒補正		→切↔弱↔中↔強←		黒レベル補正を調節できます。
オートカラー		→切↔入←		NTSCコンポジット/S映像信号入力時のみ有効な機能です。 色信号レベルを検知し一定に保つ機能です。背景色の自然な階調を忠実に再現します。
色温度調節		→しない↔する←		お好みにより色温度を細かく調節したい場合に「する」に設定します。
振幅	赤	明るい部分の赤がおさえられる	明るい部分が赤っぽくなる	お好みに合わせて色温度を調節できます。これらは上記4通りの色温度それぞれについて別個に設定できます。
	緑	明るい部分の緑がおさえられる	明るい部分が緑っぽくなる	
	青	明るい部分の青がおさえられる	明るい部分が青っぽくなる	
カットオフ	赤	暗い部分の赤がおさえられる	暗い部分が赤っぽくなる	
	緑	暗い部分の 緑がおさえられる	暗い部分が緑っぽくなる	
	青	暗い部分の青がおさえられる	暗い部分が青っぽくなる	

映像設定（ビデオ入力時）（つづき）

調節項目		◀	▶	設定のポイント
カラーマネージメント		しない ←→ する		お好みに合わせて以下の各色のバランスを調節するときに「する」にします。
	マゼンタ	マゼンタが淡くなる	マゼンタが濃くなる	左記の各色それぞれを独立に、より深く、あるいはより鮮明に調節できます。 これらは前頁4通りの色温度それぞれについて別個に設定できます。
	赤	赤が淡くなる	赤が濃くなる	
	黄	黄色が淡くなる	黄色が濃くなる	
	緑	緑が淡くなる	緑が濃くなる	
	シアン	シアンが淡くなる	シアンが濃くなる	
	青	青が淡くなる	青が濃くなる	
カラーデコーディング		RGB ←→ R ←→ G ←→ B		お好みに合わせて単色画面や全色画面を選択し、RGBの信号レベルを調節できます。 設定を変える度に決定ボタンを押します。
	赤	赤のレベルが下がる	赤のレベルが上がる	お好みに合わせた自然な色再現のために、左記の各項目を調節します。 これらは前頁4通りの色温度それぞれについて別個に設定できます。 「色あい」はPAL/SECAM信号受信時には動作せず、ガイド表示はグレー色の選択不可となります。
	緑	緑のレベルが下がる	緑のレベルが上がる	
	色の濃さ	色が薄くなる	色が濃くなる	
	色あい	赤が強く、緑が弱くなる	緑が強く、赤が弱くなる	

映像設定（RGB入力時）

調節項目	◀	▶	設定のポイント
明るさ	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる	周囲の明るさに合わせて見やすく調節します。 設定値[+31]のとき、さらに▶ボタンを押し続けると最大[+40]まで上がり、調節状態ガイド表示が緑からマゼンタ色に変わります。これは暗いシーンをより見やすくするための特別なモードであり、明るいシーンでは逆に不鮮明になる場合がありますので、最大[+31]でご使用になることをおすすめします。 明るさを調節する場合、機能設定メニューのパネルライフ設定は「ノーマル」としてください。
黒レベル	黒が沈み、全体が暗くなる	黒が浮き、全体が明るくなる	お好みに合わせて調節します。
色の濃さ	色が薄くなる	色が濃くなる	お好みに合わせて調節します。
色あい	赤が強く、緑が弱くなる	緑が強く、赤が弱くなる	肌色がよりきれいに見えるように調節します。
画像補正	切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強		より細かい部分の鮮明さをお好みに合わせて設定します。
色温度	高 ↔ 中 ↔ 中低 ↔ 低		通常「中」にします。
色温度調節	する ↔ しない		お好みにより色温度を細かく調節したい場合に「する」に設定します。
振幅 赤	明るい部分の赤がおさえられる	明るい部分が赤っぽくなる	お好みに合わせて色温度を調節できます。これらは上記4通りの色温度モードそれぞれについて別個に設定できます。
振幅 緑	明るい部分の緑がおさえられる	明るい部分が緑っぽくなる	
振幅 青	明るい部分の青がおさえられる	明るい部分が青っぽくなる	
カットオフ 赤	暗い部分の赤がおさえられる	暗い部分が赤っぽくなる	
カットオフ 緑	暗い部分の緑がおさえられる	暗い部分が緑っぽくなる	
カットオフ 青	暗い部分の青がおさえられる	暗い部分が青っぽくなる	
標準			▶ボタンを押し、決定ボタンを押すと、このメニュー画面の各項目が工場出荷時の標準設定に戻ります。

操作方法（つづき）

音声設定

調節項目	◀	▶	設定のポイント
音声モード	→ムービー ↔ ミュージック← / →お気に入り ↔ スピーチ←		ムービー：映画に適した設定になっています。 ミュージック：音楽に適した設定になっています。 スピーチ：ニュースやトーク番組に適した設定になっています。 お気に入り：お好みに合わせて調節するモードです。
高音	高音がおさえられる	高音が強調される	お好みに合わせて調節します。
低音	低音がおさえられる	低音が強調される	お好みに合わせて調節します。
バランス	右側の音がおさえられる	左側の音がおさえられる	お好みに合わせて調節します。
ダイナミックバス	→切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強←		人間の聴覚が2つの音の差成分の音（周波数）を強く認識することを利用し、実際には再生されていない低音が聞こえるように感じることができるシステムです。 お好みに合わせて設定できます。
サラウンド	→切 ↔ 入←		臨場感のある音声を再生することができます。
音声AGC	→切 ↔ 入←		各入力の平均的な音量レベルを、自動的に合わせることができます。
標準			▶ボタンを押し、決定ボタンを押すと、このメニュー画面の各項目が工場出荷時の標準設定に戻ります。
ヘッドホン音量	音量が小さくなる	音量が大きくなる	ヘッドホン専用の音量を設定します。ヘッドホン端子を接続すると、スピーカーの音量は消音になります。
ヘッドホン選択	→A/B ↔ B←		A/B：2画面表示の際、ヘッドホンからA（左画面）またはB（右画面）の選択した方の音量がでます。選択した画面の上部にスピーカーマークがでます。 B：常にB（右画面）からヘッドホン音量がでます。

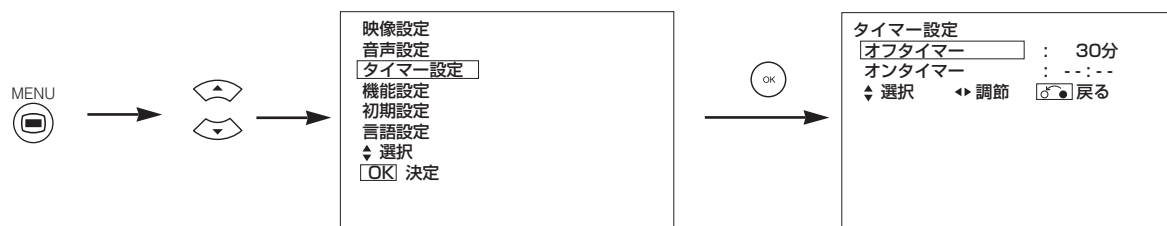
お知らせ

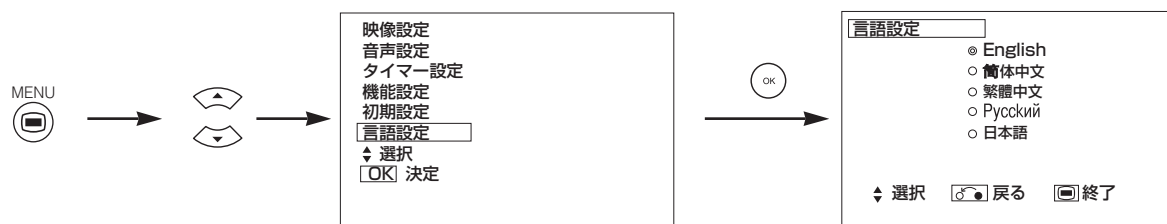
ヘッドホンについて

●PC入力時(RGB1/RGB2)の音声は、ヘッドホンに出力されません。

●AV1とAV6入力の2画面表示に限り、「音声設定・ヘッドホン選択」にて、「B」を選択しても、常にA(左画面)からの音声がヘッドホンに出力されます。

操作方法（つづき）

タイマー設定

調節項目	◀	▶	設定のポイント
オフタイマー	ーー分 ⟷ 30分 ⟷ 60分 ⟷ 90分 ⟷ 120分 ⟷ ーー分		指定した時間が経過すると自動的に電源をスタンバイ状態にする機能です。
オンタイマー	ーー（：ーー） 時間	（ーー：）ーー 分	指定した時間が経過すると自動的に電源をスタンバイ状態からオンにする機能です。00：00から11：59までの範囲で設定できます。リモコンの▲▼ボタンで時間を設定してください。

言語設定

▲▼ボタンで言語を選び、決定ボタンを押してください。

その他の機能

自動ストア

調節した状態は調節終了後、約1秒で下表に従って登録されます。

メニュー	表示		登録条件
映像設定	映像モード		1組登録できます。
	明るさ		入力モードごと、映像モードごとに1組登録できます。
	黒レベル		
	色の濃さ		
	画質		
	色あい		
	色温度		
	コントラストモード		
	YNR		
	CNR		
	フィルムシアター		
	PAL コムフィルター		
	LTI		
	CTI		
	黒補正		
	オートカラー		
	色温度調節		色温度モードごとに1組登録できます。
	振幅	赤	1組登録できます。
		緑	
		青	
	カットオフ	赤	
		緑	
		青	
	カラーマネージメント		入力モードごと、映像モードごとに1組登録できます。
		マゼンタ	1組登録できます。
		赤	
		黄	
		緑	
		シアン	
		青	
	カラーデコーディング		–
		赤	色温度モードごとに1組登録できます。
		緑	
		色の濃さ	入力モードごと、映像モードごとに1組登録できます。
		色あい	
音声設定	音声モード		1組登録できます。
	高音		音声モードごとに1組登録できます。
	低音		
	バランス		1組登録できます。
	ダイナミックバス		音声モードごとに1組登録できます。
	サラウンド		
	音声AGC		
	ヘッドホン音量		
	ヘッドホン選択		

メニュー	表示		登録条件
機能設定	スクリーンセーバー		1組登録できます。
	スクリーンワイプ		(登録しない)
	ブラックサイドパネル		1組登録できます。
	ビデオパワーセーブ		
	パネルライフ		
	シェーディング		
	モード表示		
	ID番号		
	反転		(登録しない)
	スタンバイホワイト		
	ガンマ		
初期設定	システム		1組登録できます。
	カラーシステム		–
		AV1	入力モードごとに1組登録できます。
		AV2	
		AV3	
		AV4	
		AV5	
	映像入力		–
		AV1	1組登録できます。
		AV2	
	RGB1		1組登録できます。
	RGB2		
	自動調節		(登録しない)
	水平位置		信号モードごとに1組登録できます。(RGB2のみ)
	垂直位置		
	クロック		
	位相		
	入力レベル		1組登録できます。
	周波数表示		
	WVGAタイプ		
	WXGAモード		
	垂直フィルター		
	周波数モード		
言語設定			

●新しい内容を設定すると、前回の登録内容は失われます。
●信号モードは、水平/垂直周波数と同期信号極性によって判別されます。これらの全ての要素が同じか類似している場合は、異なる信号であっても、同一の信号として扱われることがあります。

その他の機能（つづき）

パワーセービングシステム

RGB1, RGB2 入力選択時

●本機をDPMS対応のコンピューターに接続して使用すると、コンピューター未使用時にはパワーセーブ（オフ）モードが自動的に設定されて、本機の消費電力を節減することができます。

RGB信号	水平	有	無	有	無
	垂直	有	有	無	無
画像		アクティブ（通常表示）	ブランク（表示無し）		
動作モード		オン	オフ		
表示ランプ		緑色点灯	橙色点灯		
消費電力		380W	3W 以下 (RGB1) 1W 以下 (RGB2)		

動作状態に戻すには

●パソコンを動作させるか、本体の入力切換ボタンまたはリモコンのRGB1/RGB2ボタンを押します。

DVDプレーヤー選択

●本機のリモコンが、下表に示すボタンを同時に押すことで、選択されたメーカーのDVDプレーヤーを操作できるようになります。

<"DVD"選択状態>

DVDプレーヤーのメーカー	メーカー決定ボタン	タイプ決定ボタン	DVDプレーヤーのメーカー	メーカー決定ボタン	タイプ決定ボタン
日立	[i+] RGB1	[i+] AV1～AV2	SAMSUNG	[i+] AV6	[i+] AV1
フナイ	[i+] RGB2	[i+] AV1	ソニー	[i+]	[i+] AV1～AV3
パイオニア	[i+] AV1	[i+] AV1～AV6	シャープ	[i+]	[i+] AV1～AV2
松下	[i+] AV2	[i+] AV1～AV4	三菱	[i+]	[i+] AV1
東芝	[i+] AV3	[i+] AV1～AV4	オンキョウ	[i+]	[i+] AV1～AV3
日本ビクター	[i+] AV5	[i+] AV1	DENON	[i+]	[i+] AV1～AV2

メーカー設定方法

例）日立DVD(AV1)の場合

1. メーカー決定
[i+] ボタンを押しながらRGB1ボタンを1秒以上押す。

2. メーカータイプ決定
[i+] ボタンを押したまま一度RGB1ボタンより手を離し、AV1ボタンを1秒以上押す。

3. 設定確認
メーカーとタイプ決定後、リモコンの電源オンオフボタンを押して、DVDプレーヤーが動作することを確認する。
万一、動作しない場合は、上の表に従い、他のメーカータイプ（この場合AV2）を選択し、再度1、2の手順を行い、動作することを確認する。

注）機種によっては、このリモコンで操作できない場合があります。

その他の機能（つづき）

信号チェック（RGB入力時）

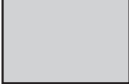
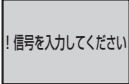
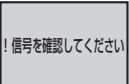
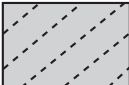
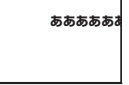
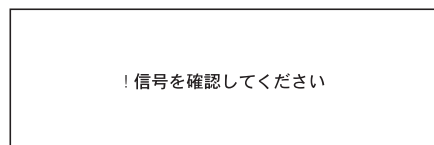
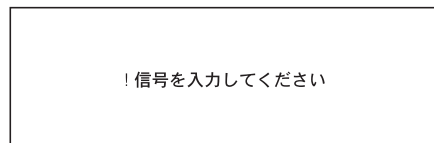
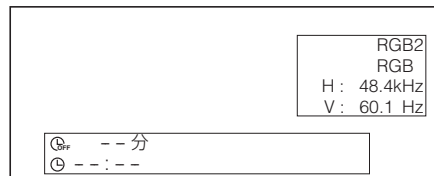
入力信号状態が変わると、その状態を画面に表示します。

状　態	表　示	対　処
PC入力「初期設定」の「周波数表示」を「入」に設定し、入力信号を切り換えたとき、または画面表示ボタンを押したとき	入力端子と水平/垂直周波数をガイド表示します。	–
同期信号が検出できなかったとき	・「信号を入力してください」「パワーセーブ」とガイド表示します。（約5秒間） ・同期信号が検出できない状態が継続すると電源の表示ランプが橙色になり、パワーセーブモードに移行します。	パソコンの電源スイッチやパソコンの接続状態をもう一度確認してください。
入力信号がモニターの仕様に合わないか、または不安定な状態であるとき	「信号を確認してください」とガイド表示します。	入力信号の仕様をもう一度確認してください。 48 ～ 50

RGB

RGB2
RGB
H： 48.4kHz
V： 60.1 Hz

－－分
－－：－－

！信号を入力してください

！信号を確認してください

故障かな…と思ったら

故障とまちがえやすい現象

症状に応じて以下の確認を行ってください。症状が改善されない場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

⚠警告
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

症状		確認内容	参考頁
画面表示があらわれず、電源の表示ランプが消えている場合。		・電源コードの接続状態を確認してください。 ・主電源スイッチを押してみてください。	20 21
●「信号を入力してください」「パワーセーブ」のメッセージが表示された場合。 ●画面表示があらわれず、電源の表示ランプが橙色に点灯している場合。	！信号を入力してください	同期信号が検出できません。 ・信号ケーブルの接続状態を確認してください。 ・コンピューター、映像機器などのスイッチがオンになっていることを確認してください。 ・コンピューターがパワーセーブモードになっていないか確認してください。 ・入力切換が接続端子と一致していることを確認してください。	18
「信号を確認してください」のメッセージが表示された場合。	！信号を確認してください	入力信号が正常受信できません。 ・入力信号がモニターの仕様に合っていることを確認してください。 ・信号ケーブルの接続状態を確認してください。	18 48 49 50
電源の表示ランプが正常に点灯しているのに、画面表示があらわれない場合。		・明るさ、黒レベルの調節状態を確認してください。 （＋調節してみる。） ・信号ケーブルの接続状態を確認してください。	18 35 37
●画面がななめに流れる場合。 ●画面全体に文字列を表示すると、縦縞がはいり、画面縦列の文字がにじんで表示される場合。		ドットクロック周波数とドットクロック位相を調節してください。（ドットクロック周波数を調節後、ドットクロック位相を調節してください。） （RGB入力時）	31 45
●画面全体に文字列を表示すると、画面全体の文字がにじんで表示される場合。 ●細かい模様を表示させたときに画面がちらつく場合。	あ	ドットクロック位相を調節して、最もくっきり見えるようにしてください。 （RGB入力時）	31 45
リモコンで操作できない場合。		・リモコンの乾電池が逆に入っていないか確認してください。 ・リモコンの乾電池の寿命がなくなっていないか確認してください。	14
正常な位置に表示できない場合。	ああああああ	・ⓘ ボタンを押して、表示された入力信号がモニターの仕様に合っていることを確認してください。 ・スクリーンセーバーをオフにして確認してください。	18 33 48 49 50
PC入力時に画面が欠ける場合。	ああああああ	スクリーンセーバーをオフにして確認してください。	33

故障とまちがえやすい現象（つづき）

症状	確認内容	参考頁
表示パネルの表面温度が高い。	プラズマディスプレイパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。 そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。	−
画面上に周囲と異なる点（※）がある。 ※：光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。	プラズマディスプレイパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。	−
画面の内容により、縦状のノイズが出る。	プラズマディスプレイパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。	−
フルモード表示画面で粗い横筋が見える。 (パソコン信号入力時)	目の錯覚により見える場合があります。 位相調節により横筋を軽減することができます。	31
フリッカにより横線が上下に振動している。 (パソコン信号入力時)	パソコンの垂直周波数が85Hz未満の場合は、周波数を高くしてみてください(上限85Hz)。現象が軽減される場合があります。 垂直フィルター設定を「入」にしてみてください。ただしこの場合、垂直解像度が低下します。	32
モニターの上部が熱い。	長時間使用した時などに、モニター上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。	−
文字等の太さが不均一に表示される。	垂直解像度が512ラインを超える画像を表示すると、文字や罫線等の太さが不均一になる場合がありますが、故障ではありません。	−
VTRの特殊再生（早送り、早戻し）時に画面が暗くなり、映像が見えなくなる。	480iなどのコンポーネント出力のVTRを接続した場合に発生する場合があります。 故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。発生した場合は、コンポジット出力または、S映像出力に変更してご使用ください。	−
マルチ画面で小画面が表示されない。	組合せにより小画面に表示できない映像があります。 詳細は「2画面モード表、4画面モード表」を参照ください。	27
画面サイズが切替わらない。	1080i/60Hz, 1080i/50Hzおよび720p/60Hz信号受信時は画面サイズが「フル」固定となります。	−
AV6（HDMI）の画像が出ない。	ケーブルまたは接続されている機器の出力フォーマットを確認してください。「映像機器との接続」、「推奨信号一覧」を参照ください。	17 49

故障かな…と思ったら（つづき）

正常に表示しない場合の対処方法

使用するシステム装置によって、表示画面が適正でない場合があります。このような時は必ず以下の調節を行ってください。（RGB2入力の場合のみ）

症状1	画面全体に文字を表示すると縦縞がはいり、一部の文字がにじんで表示される（画面1）
例	画面1
調節方法	1)　リモコンの自動調節ボタンを押してください。
	自動調節で調節できないときは 2)　メニューボタンを押してください。メインメニューが表示されます。 3)　▼ボタンを押して、初期設定を選択します。 4)　決定ボタンを押してください。初期設定メニューが表示されます。 5)　▼ボタンを押して、クロックを選択します。 （クロックの調節は、文字などの細かいパターンか、縦縞パターンを画面全体に表示して行ってください。） 6)　◀▶ボタンを押して、文字が画面全体で均等に見えるところを探してください。 7)　画面全体で文字がにじんで見える場合は、症状2の調節を行ってください。

●クロック調節中に画面が一瞬乱れることがありますが故障ではありません。

症状2	画面全体に文字を表示すると画面全部の文字がにじんで表示される（画面2） 細かい模様を表示させた時に画面がちらちらする（画面3）	
例	調節前 あいうえおかきくけこ abcdefgABCDEFGabcd あいうえおかきくけこ abcdefgABCDEFGabcd くけこ 調節後 くけこ	調節前 調節後
調節方法	1)　リモコンの自動調節ボタンを押してください。	
	自動調節で調節できないときは 2)　メニューボタンを押してください。メインメニューが表示されます。 3)　▼ボタンを押して、初期設定を選択します。 4)　決定ボタンを押してください。初期設定メニューが表示されます。 5)　▼ボタンを押して、位相を選択します。 （位相の調節は、文字などの細かいパターンか、縦縞パターンを画面全体に表示して行ってください。）	
	6)　◀▶ボタンを押して、文字が画面全体できれいなところを探してください。	6)　◀▶ボタンを押して、画面がちらつかないところを探してください。

製品仕様

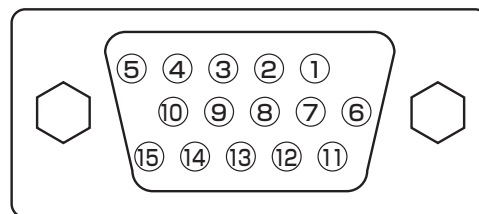
パネル	表示寸法	約42 インチ(水平922mm, 垂直522mm, 対角1059mm)
	表示ドット数	水平1024 x 垂直1024
外形寸法 (スピーカー/スタンド含まず)		幅1030 x 高さ636 x 奥行105 (mm)
質量 (スピーカー/スタンド含まず)		35.7kg
保証 環境条件	温度	使用時: 5℃～35℃, 保存時: 0℃～40℃
	湿度	使用時: 20%～80%, 保存時: 20%～90% (結露なきこと)
電源		AC100V, 50/60Hz
消費電力（スタンバイ時）		380W（3W以下）
音声出力端子		スピーカ端子(12W + 12W (6Ω))
(RGB入力)		
入力端子		RGB1: DVI入力端子(DVI-D) RGB1: 音声入力端子(3.5mmステレオミニジャック) RGB2: アナログRGB入力端子(D-sub 15ピン) RGB2: 音声入力端子(3.5mmステレオミニジャック)
入力信号		0.7V/1.0Vp-p, アナログRGB(推奨信号) 480i, 576i, 480p, 576p, 1080i/50, 1080i/60, 720p/60
同期信号		H/Vセパレート, TTLレベル [2kΩ] H/Vコンポジット, TTLレベル [2kΩ] Sync on green, 0.3Vp-p [75Ω]
推奨信号		44モード 49 50
ビデオ入力		
入力端子		AV1: コンポジット映像入力端子(RCA) AV1: Y/P_B/P_R映像入力端子(RCA) AV1: L/R音声入力端子(RCA) AV2: コンポジット映像入力端子(RCA) AV2: Y/P_B/P_R映像入力端子(RCA) AV2: L/R音声入力端子(RCA) AV3: コンポジット映像入力端子(RCA) AV3: S映像入力端子 AV3: L/R音声入力端子(RCA) AV4: コンポジット映像/ L/R音声入力端子(RCA) AV5= AV3 AV6: HDMI入力端子
入力信号		AV1: PAL, SECAM, NTSC4.43, NTSC3.58 AV1: 480i, 576i, 480p, 576p, 1080i/50, 1080i/60, 720p/60 AV2: PAL, SECAM, NTSC4.43, NTSC3.58 AV2: 480i, 576i, 480p, 576p, 1080i/50, 1080i/60, 720p/60 AV3: PAL, SECAM, NTSC4.43, NTSC3.58 AV4: PAL, SECAM, NTSC4.43, NTSC3.58 AV5= AV3 AV6: HDMI信号
出力信号		モニター出力: コンポジット映像モニター出力端子(RCA) モニター出力: L/R音声モニター出力端子(RCA) ヘッドホン出力: L/R音量モニター出力端子（ミニピン）
推奨信号		23モード 48 49

●最適画質状態になるまでの所要時間は30分以上です。

信号入力

●ＲＧＢ端子（D-sub15ピンコネクター）

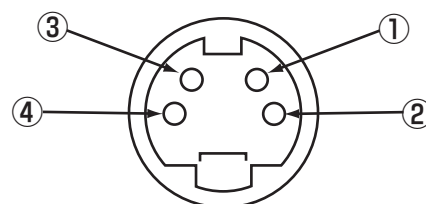
ピンNo.	入力信号
1	R（PR/CR）
2	GまたはSYNC.on Green（Y）
3	B（PB/CB）
4	NC
5	NC
6	R.GND（PR/CR GND）
7	G.GND（Y GND）
8	B.GND（PB/CB GND）
9	NC
10	GND
11	NC
12	[SDA]
13	H.sync.またはH/V composite sync
14	V.sync. [V.CLK]
15	[SCL]

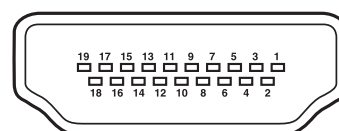
NC:No Connection（未接続）
（　）内：RGBコンポーネント時

●グラフィックボードなどによって複数種の同期信号が入力された場合、本機では下表の優先順位で信号を自動選択します。

同期信号の種類	優先順位
H/V separate sync.	1
H/V composite sync.	2
sync.on Green＊	3

＊次頁に示す推奨信号であっても正しく表示できないことがあります。その場合は、H/V Separate sync, H/V composite sync でご使用ください。

●S入力コネクター

ピン No.	入力信号
1	Y
2	Y-GND
3	C
4	C-GND
フレーム	GND

●HDMI コネクター

ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2+	11	TMDS Clock Shield
2	TMDS Data2 Sheild	12	TMDS Clock -
3	TMDS Data2-	13	CEC
4	TMDS Data1+	14	Reserved (N.C. on device)
5	TMDS Data1 Shield	15	SCL
6	TMDS Data1-	16	SDA
7	TMDS Data0+	17	DDC/CED Ground
8	TMDS Data0 Shield	18	+5V Power
9	TMDS Data0-	19	Hot Plug Detect
10	TMDS Clock+		

製品仕様（つづき）

信号入力（つづき）

●DVI 入力端子（DVI-D）

ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	T.M.D.S. Data2-	14	+5V Power
2	T.M.D.S. Data2+	15	Ground (for+5V)
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	16	Hot Plug Detect
4	T.M.D.S. Data4-	17	T.M.D.S. Data0-
5	T.M.D.S. Data4+	18	T.M.D.S. Data0+
6	DDC Clock	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
7	DDC Data	20	T.M.D.S. Data5-
8	No Connect	21	T.M.D.S. Data5+
9	T.M.D.S. Data1-	22	T.M.D.S. Clock Shield
10	T.M.D.S. Data1+	23	T.M.D.S. Clock+
11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	24	T.M.D.S. Clock-
12	T.M.D.S. Data3-	フレーム	GND
13	T.M.D.S. Data3+		

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24

推奨信号一覧

●各入力端子の対応信号一覧

端子	RCA/S端子			HDMI	DVI		D-sub		備考
信号	コンポジット	S端子	コンポーネント		PC	STB	RGB	コンポーネント	
AV1	○		○						初期設定メニューを参照 30
AV2	○		○						初期設定メニューを参照 30
AV3	○	○							初期設定メニューを参照 30
AV4	○								初期設定メニューを参照 30
AV5	○	○							初期設定メニューを参照 30
AV6				○					
RGB1					○	○			初期設定メニューを参照 32
RGB2							○	○	初期設定メニューを参照 32

（○：受像可能）

●コンポジット入力時（AV1～AV5入力）・Sビデオ入力時（AV3、5入力）

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	NTSC4.43 NTSC3.58	525	59.94	15.73	—	
2	PAL SECAM	625	50.00	15.63	—	

●コンポーネント入力時（AV1, AV2 入力・RGB2コンポーネント入力）

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	576i	576	50.00	15.63	–	
2	480i	480	59.94	15.73	–	
3	576p	576	50.00	31.26	–	
4	480p	480	59.94	31.47	–	
5	1080i/50	1080	50.00	28.13	–	
6	1080i/60	1080	60.00	33.75	–	
7	720p/60	720	60.00	45.00	–	

製品仕様（つづき）

推奨信号一覧（つづき）

●HDMI入力時（AV6入力）

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	VGA	640 X 400	59.94	31.47	25.18	EIA-861B
2	576i	720(1440) X 576	50.00	15.63	27.00	EIA-861B
3	480i	720(1440) X 480	59.94	15.73	27.00	EIA-861B
4	576p	720 X 576	50.00	31.25	27.00	EIA-861B
5	480p	720 X 480	59.94	31.47	27.00	EIA-861B
6	1080i/50	1920 X 1080	50.00	28.13	74.25	EIA-861B
7	1080i/60	1920 X 1080	60.00	33.75	74.25	EIA-861B
8	720p/60	1280 X 720	60.00	45.00	74.25	EIA-861B

●デジタル信号入力時

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)	初期設定状態		備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			DVI-PC	DVI-STB/ AV6	
1	VGA	640 X 400	70.08	31.47	25.18	○		
2		640 X 480	59.94	31.47	25.18	○	○	
3	W-VGA	864 X 480	59.94	31.47	34.24	○		“WVGAタイプ”設定：「入」
4	VESA	640 X 480	72.81	37.86	31.50	○		
5		640 X 480	75.00	37.50	31.50	○		
6		640 X 480	85.01	43.27	36.00	○		
7		800 X 600	56.25	35.16	36.00	○		
8		800 X 600	60.32	37.88	40.00	○		
9		800 X 600	72.19	48.08	50.00	○		
10		800 X 600	75.00	46.88	49.50	○		
11		800 X 600	85.06	53.67	56.25	○		
12		1024 X 768	60.00	48.36	65.00	○		
13		1024 X 768	70.07	56.48	75.00	○		
14		1024 X 768	75.03	60.02	78.75	○		
15	480p	720 X 480	59.94	31.47	27.00		○	EIA-861B
16	576p	720 X 576	50.00	31.25	27.00		○	EIA-861B
17	720p/60	1280 X 720	60.00	45.00	74.25		○	EIA-861B
18	1080i/60	1920 X 1080	60.00	33.75	74.25		○	EIA-861B
19	1080i/50	1920 X 1080	50.00	28.13	74.25		○	EIA-861B

（○：受像可能）

製品仕様（つづき）

推奨信号一覧（つづき）

●アナログRGB信号入力時（RGB2入力）

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	VGA	640 X 400	70.08	31.47	25.18	
2		640 X 480	59.94	31.47	25.18	
3	W-VGA	864 X 480	59.94	31.47	34.24	“WVGAタイプ”設定：「入」
4	VESA	640 X 480	72.81	37.86	31.50	
5		640 X 480	75.00	37.50	31.50	
6		640 X 480	85.01	43.27	36.00	
7		800 X 600	56.25	35.16	36.00	
8		800 X 600	60.32	37.88	40.00	
9		800 X 600	72.19	48.08	50.00	
10		800 X 600	75.00	46.88	49.50	
11		800 X 600	85.06	53.67	56.25	
12		1024 X 768	60.00	48.36	65.00	
13		1024 X 768	70.07	56.48	75.00	
14		1024 X 768	75.03	60.02	78.75	
15		1024 X 768	85.00	68.68	94.50	
16		1152 X 864	75.00	67.50	108.00	
17		1280 X 1024	60.02	63.98	108.00	
18		1280 X 1024	75.03	79.98	135.00	
19		1280 X 1024	85.02	91.15	157.50	
20		1600 X 1200	60.00	75.00	162.00	
21		1600 X 1200	75.00	93.75	202.50	
22		1600 X 1200	85.00	106.25	229.50	
23	Macintosh	640 X 480	66.67	35.00	30.24	
24		832 X 624	74.55	49.72	57.28	
25		1024 X 768	74.93	60.24	80.00	
26		1152 X 870	75.06	68.68	100.00	
27	W-XGA	1280 X 768	59.833	47.986	81.00	
28		1280 X 768	69.997	56.137	94.760	
29		1280 X 768	59.876	47.776	79.50	“WXGAモード”1280 x 768
30		1366 X 768	60.015	47.712	85.50	“WXGAモード”1366 x 768

・使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ず水平位置、垂直位置、クロック、位相の各項目を調節してご使用ください。
・垂直周波数85Hz以上の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
・本機では水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかあるいは極めて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
・垂直解像度512ラインを超える画像をフルモードで表示（縮小表示）すると、横線が間引かれます。

株式会社 日立製作所

デジタルメディア事業部　〒244-0817　横浜市戸塚区吉田町292番地　（045）866-6302

アフターサービス

■ ご使用方法のご相談や修理のご依頼などは、お買い上げの販売店が承ります。購入店名や電話番号、製品の形名などをメモしておくと連絡のとき便利です。

購入店名：

電話：（　）　　購入年月：　年　月　日

品名：日立プラズマディスプレイ　形名：42PD7000MA-J1

製造番号：

（製品の後面に表示されています。）

■ 転居やご贈答品などで購入店に修理を依頼できない場合は、下記のサービス会社の窓口にご相談ください。

（株）日立情映テック　保守サービス課　TEL：045-865-1953
横浜市戸塚区吉田町292番地　FAX：045-866-5997

QR63502
Printed in China